

2) タイ——THAI WOMEN IN AGRICULTURE

(部分的和訳)

THAI WOMEN in AGRICULTURE

AND
RURAL DEVELOPMENT

PREPARED FOR FAO REGIONAL OFFICE

FOR
RURAL DEVELOPMENT PROGRAM

(RAPA) NATIONAL LEVEL

Prepared

by

Ms. POUNGPIT DULYAPACH

Chief of Farm Home Improvement Section
Department of Agricultural Extension
Ministry of Agriculture and Cooperatives
Bangkhen, Bangkok

THAILAND

Telephone : 579-3894, 579-3856

ACKNOWLEDGEMENT

I wish to express my profound gratitude and deep appreciation to the following persons for their invaluable support in preparing this paper:

Alexandra Stephens, Regional Home Economics and Social Programme Office. FAO, Bangkok for encouragement, unstinting support and many practical suggestions.

Gwen Glycer Smith and Ruth Adams, American Peace Corps Volunteers, for their skillful language assist.

My friends and colleagues for giving of their time and talents, to make my paper complete.

TABLE OF CONTENTS

	page
1. COUNTRY BACKGROUND	1
1.1 Historical Informations	1
1.2 Physical Environments	1
1.3 Capital City and Provinces	1
1.4 Population	2
1.5 Climate	4
1.6 Soil and Land	6
1.7 Water source	6
1.8 Forest	7
1.9 Language	7
1.10 Religion and Culture	8
2. POLITICAL AND SOCIAL	9
2.1 Political	11
2.2 Social	11
3. EDUCATION STATUS OF POPULATION	13
4. ECONOMIC	14
5. TRADITIONAL ROLES	16
5.1 Family Structures and Patterns	16
5.2 Birth, Marriage, Death and Ritual Celebrating	17
5.3 Roles of Thai Women in the Past	18
5.4 Roles of Thai Women in Changing Society	19
5.5 Roles of Thai Rural Women	19
6. STATUS OF THAI WOMEN AT THE PRESENT	20
6.1 <u>Women</u> with Education	20
6.2 <u>Women</u> in Health	21

(和訳掲載)

6.3 Women in Politics and Administration	22
6.4 Women with Employment and Wages	23
7. NATIONAL POLICIES AFFECTING WOMEN IN THAILAND	24
7.1 The Fifth Five-year Plan	24
7.2 Rural Development	26
7.3 Basic Minimum Needs Approach	28
7.4 Women Development Plan	29
7.5 National Commission on Women's Affairs	29
7.6 Some Effects of Women's Development	32
7.6.1 Economics	33
7.6.2 Society	33
7.6.3 Politics and Administration	33
7.6.4 Education	33
7.6.5 Health	34
7.6.6 Food Production Program	35
8. AGRICULTURE	36
8.1 Farming Methods	36
8.2 Agricultural Policy	38
8.3 Farming Information	39
9. THAI WOMEN IN AGRICULTURAL SECTOR	39
9.1 Cultural Practices in Paddy Production	40
9.2 Women's Activities in Paddy Cultivation	40
9.3 Women's Activities in Miscellaneous Agriculture	44
9.4 Farm Women Influence on Decision Making	45
9.5 Farm Women's Earning Power	46
9.6 Marketing	46
9.7 Domestic Works	46
9.8 Farm Women and Mechanization	47
9.9 Women Involvement in Cooperatives	48

⑩. EXTENSION SERVICES	(和訳掲載)	48
10.1 Farm Home Improvement Section		48
10.2 Regional Offices		50
10.3 Provincial Offices		51
10.4 District Offices		51
10.5 Overall Policy of DOAE in 1982-1986		51
10.6 Farm Women Clubs		52
⑪. EXCLUSION OF WOMEN FARM TECHNOLOGY	(和訳掲載)	55
⑫. WOMEN PERFORMANCE IN AGRICULTURAL PRODUCTION	(")	57
⑬. WOMEN'S NEEDS IN AGRICULTURAL TRAINING	(")	57
⑭. FARMER GROUPE	(")	58
⑮. WOMEN OFFICERS IN AGRICULTURAL SECTOR	(")	59
16. FUTURE OUTLOOK		60
17. PROPOSALS FOR THE FUTURE		63
18. SUMMARY OF RECOMMENDATION		66
19. KEY WOMEN'S ORGANIZATION		68
20. BIBLIOGRAPHY		70
21. STATISTICAL DATA, MAPS AND PICTURES		72

DIAGRAM III. ORGANIZATION CHART OF
FARM HOME IMPROVEMENT SECTION

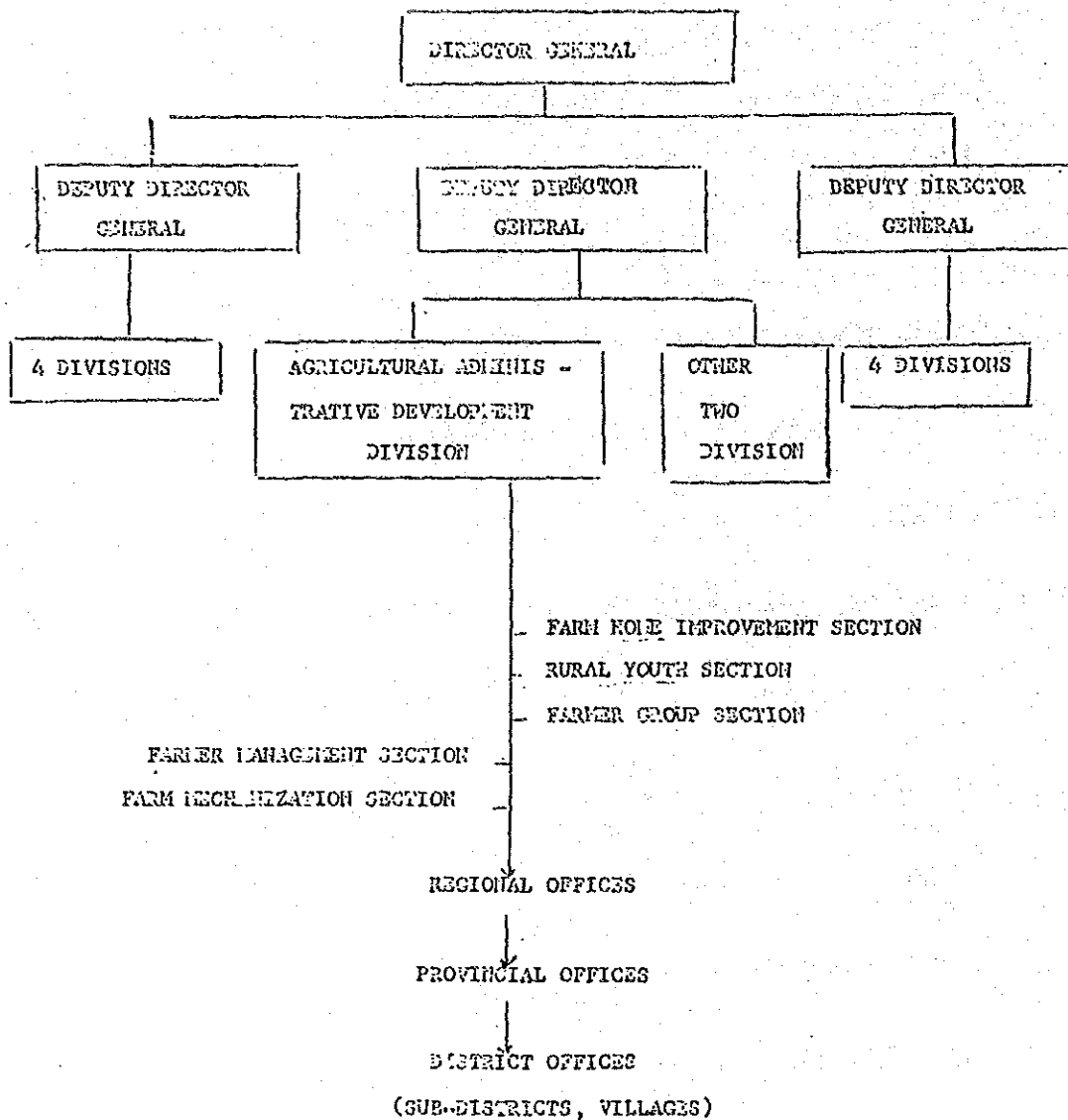
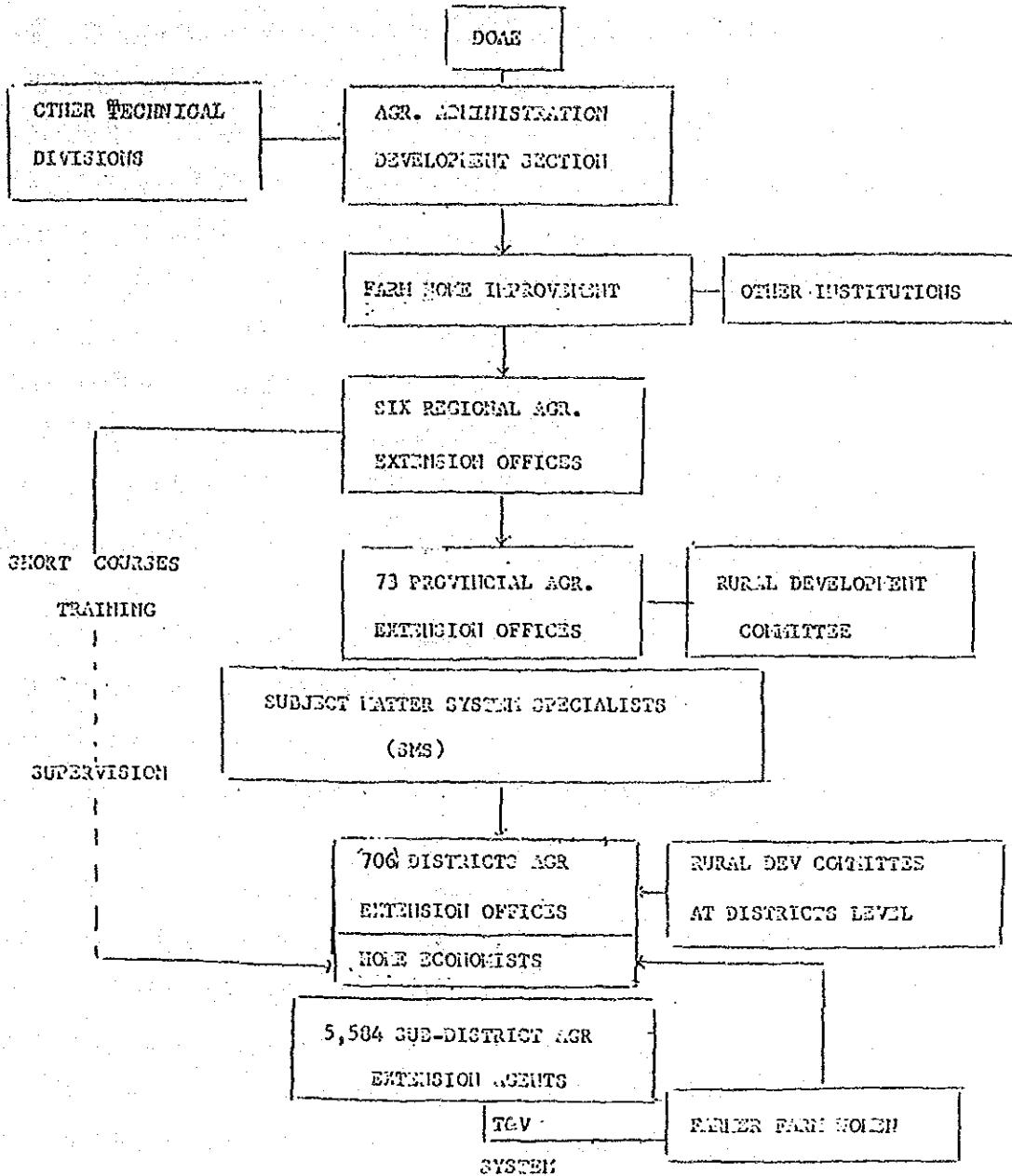


DIAGRAM IV INSTITUTION STRUCTURE OF FARM HOME PROGRAM



摘 要

タイの人口と労働力は、圧倒的に地方及び農村地帯によるものである。全人口の約84%が、地方に住んでいる。そして、雇用人口の約78%が農業地域からである。農業における女性労働者は、男子労働者の76%に対して79%である。従って、農業における女性が最も重要な生産要素であることが分る。地方女性、特に小農家出身者は、やせた土壌と乏しい水資源の限られた土地資源での農業生産から生計を得るといふ課題に直面している。米作が、地方住民の支えの柱であり、又何よりもそれが基本的な財物である。収穫は、毎年の収入の保証も安定化をしない降雨量に依存する栽培である。農村婦人は、健康に恵まれず、教育は低く且つ原始的な道具での長時間労働である。何十年かけても、数世紀間地方婦人が直面してきた不平等性の除去には不十分であろう。その証拠には、農業の発展において婦人はその役割を認められることがかつてなかった。彼女達はしばしば、伝統的な行動に従うのみで、技術投入からは疎外されている。地方婦人は、農業をベースとした活動を通して社会及びその家族の双方に貢献しうることが必要である。男性の仲間と肩を並べて、経営、農業技術並びにプロジェクト計画及びその実施の管理における婦人の役割を強化するためには、広汎な分野での援助が必要となる。

6 現在におけるタイ婦人の地位

一般的に云えば、タイ婦人の暮らしは他の発展途上国の同性の多くよりもよい。彼女達は、指を立てる必要もなく幾つかの権利を与えられている。タイ婦人の啓蒙の場合の主な障害は、社会における両性の役割と機能の分化に関する男女双方の根深い態度にある。これは変えねばならないだろう。これらの障害については以下の節で詳細に論じる予定である。

6-1 教育を受ける婦人

婦人の教育は男性よりおくれでスタートしたが、その成長率は総じて、極めて印象的であった。婦人の間での読み書き能力率はまだ男性におくれているが、女性は現在では小学校・中学校在籍者の殆ど50%を占めている。大学生中では女性はその40%を越えているけれども、傾向としては、科学や法律よりも人文・社会科学の領域となっている。地方における婦人はいまだに教育の面からは、機会均等にも拘らず男性におくれている。この理由は以下の通りである。

- (a) 少女の小学教育からの中退率が少年よりも高い。極端な貧困、学校と家庭間の遠距離、或は母親達が病気若しくは妊娠している時その兄弟姉妹の面倒を少女がみなければならぬこと、それらすべてが少女の初等教育をおえない理由である。
- (b) 「教育は女には不必要」という考えが、まだ多くの両親の態度に現れている。あるいは家族に限られた数の児童しか学校にあげられない場合は、息子が優先させられる。
- (c) 教育サービスの面で、財源の不足により、需要をかなえることができない。人口の半分以上が、正規のシステムでの継続が不可能である。

6-2 婦人の健康

女性人口をよく見ると、婦人は色々な公衆衛生問題の犠牲であるのみならず、人口増加を生むあるいは特殊な病気の犠牲でもある。これらは、妊娠、出産及び産褥から生ずる疾病である。婦人の健康状態は、概して次のように分類される。

(a) 妊娠若くは出産又は産褥による合併症で死ぬ母親は、1978年には23.2%と20乃至40歳のグループで最も高い。

(b) 都会地における妊娠中絶は6.8%だが、地方では3.4%にすぎない。都市環境と社会的諸条件に加うるに、職業上の災害問題による健康の危険度の高さが不均衡の理由を何がしか説明している。

(c) 都市部の母親の47.1%が病院又は母子健康センターで出産したのに対し地方の母親で病院又は母子健康センターに行くのは僅か8%である。

地方の母親の89.1%は伝統的な助産婦により家庭で出産する。

(d) 栄養不足が地方婦人の間にひろがっている。主たる原因は貧困によるもので、家族の食物は、最初に働き手である夫に、次いで子供に、そして母親自身には最後に与えられる。報告によれば、妊婦中30%が、僅か1,749カロリーと日々の蛋白質67gm.しか撮っていなかったのに対し、日々の最低勧告量は2,100カロリーと蛋白質67gm.である。

(e) 家族計画統計の示すところによれば、89%の婦人が、現在家族計画を実行しているのに対して、これを是認する夫は11%にすぎず、理由は多分性交不能への恐怖によるためであろう。

(f) 農場の婦人の身体及び精神的健康はよくない。十分な休息もなく、しばしば低収入で重労働となるからである。出産まで、全時間働かねばならない妊婦は75%いる。

6-3 政治・行政における婦人

国会の総選挙で候補者として一人のタイ婦人が初めて立ったのは、1948年であった。それ以来50名以上の女性が、衆議院議員としてのつとめを果たして来た。

教育を受けた婦人が政府諸機関で勤めているが、4つの普及機関の調査により分ったことは長官、副長官又は地方局長という高い地位に就いた女性は皆無であるということである。このことは、いまだに地位の差別が、特に政府諸機関にあることを示している。大多数の婦人は、教育及び社会事業の分野で勤めている。地方に於ては報告の結果、すべての村落開発コミュニティーでは僅かながら13%の女性の関与があったが、一方、支部及び地区レベルでの女性の関与は皆無であった。

私的分野では、雇用されている女性の数は男性に対して更に少なく、その上高い地位への女性の昇進は一層困難である。

6-4 雇用と賃金に関する婦人

女性労働力の関与率はタイ国に於ては極めて高い。あらゆる年齢層の女性についての労働力関与率は増加傾向を示しているのに対して、男性のそれは比較的安定している。我国は女性

で成り立っている。

法律によれば、彼女達は同じ仕事については同じ給料を受取り、且つ男性と同じある種の昇進の権利を有することになっているが、しかし実際にはそうでない。しばしば女性労働者は、供与されるものを受取る以外に選択の権利はなく、合法的か否かに関わりなく、不平を唱えることは彼女達の仕事を多分危険に陥し入れるであろう。

平均的な女性労働者の賃金は男性よりも低い。女性平均月当り1,363Bathに対し男性は月当り1,824Bathであり、あるいは男性よりも均等は低い。

事務系の職種では、男性の方がしばしば好まれる。女性が出産のため休暇をとらねばならないかもしれないのに対し、男性は結婚後職場を去る機会がより少ないと信じられている。

農業のみについては、女性及び男性の均以上が週60時間以上労働するが、しかしそれに見合う収入を得ることができない。女性の非常に高いパーセンテージは無給の家族労働者である。女性の労働はきびしいがそれに対する報酬が殆どない。このことは地方の男性についてもいえるがその程度は少ない。しかしながら、地方の女性にとっては失業期間が、農閑期を通して都市部の女性よりも平均してはるかに長い。農閑期中に、次のシーズンまで待つ間高卒の男性が一時的な職を見つけるのに反して、比較的少数の地方女性しか、工業分野での仕事に出向かない。

10 普及活動

大規模な普及活動組織は、国家農業普及計画 (NAEP) と呼ばれる。NEAPは普及員が農家と更に効率的に活動ができるように、普及員と農家の比率を1:4,000から1:1,000にまで改善した。従ってこの1:1,000という割合は、個々の農場に基盤を置く普及員が約10ヶ村の責任をとることを意味する。その一方で農業専門員に対する農家数については、家庭経済専門員1名あたりの責任範囲が、10ヶ村若くは、その10倍にも及ぶ。

10-1 農家改善課

農業と家庭経済については、農業普及局 (DOAE) が主として責任をとっている。過去に於ては、農業開発及び変化の過程にあって重要な役割を占めている女性に対して、立案者及び行政担当者は殆ど注意を払わなかった。

1976年以降、農業普及局は、農村婦人の役割の重要性を認識してきた。それ以後の数年間に700名の家庭経済員が採用され、地方レベルでの農家の生活改良、就中農村女性と若者のそれに従事してきた。農業普及局は局長1名とそれを補佐する次長3名により統率されている。これは中央レベルで、普及、技術、行政スタッフが抱えているのは、食糧生産、栄養、家庭改良事項及び所得発生計画に関わる女性であった。農家改良課の責任事項は次の通りである。

——食糧及び栄養、食品加工及び食糧生産の分野における地方婦人のプロジェクトの策定；その生活の質の改善と家庭収入の増加のプロジェクト作成。

——農業技術の受入れ手としての農村女性に接するため、農業行政員にガイドライン及び指示要綱を与えること。

- 諸プロジェクト実施のため、地方農業行政官に予算と器材を与えること。
- 関係分野での家庭経済員の教育の実施。
- 基準データ及び関連情報の更に進んだ農村女性計画立案のための蒐集。
- 層適切な推進のための実験的プロジェクトの指導。
- 各種の開発段階で農村婦人の役割の将来の素質向上のため、農村女性の開発に関して、政府・民間双方の諸機関との協力。
- 6つの地方官庁（北部、東北、中央、西部及び東・南部）及び73の地方州農業普及官庁への活動の地方分権化。

10-2 地方官庁

この段階では6つの普及事務所がある。以前は、農村婦人計画に対し各地区に1名の普及員（農業専門員）が割当てられていたが、そのような意味での家庭経済員は全くいなかった。その活動は家庭経済計画には向いていないけれども、普及員は管理・監督面では、よく活動している。農村女性計画での地区農業普及員の役割は、以下の通りである。

- 中央所轄官庁の政策指導要項に従って州事務所の監督。
- 諸プロジェクト実施にあたっての問題点と障害の報告。
- 普及諸機関のための短期間教育の組織化。
- 経験、アイデア及び技能の相互交換を可能ならしめるため、地区レベルでの農村婦人の年間会合の組織化。

1985年5月に内政委員会は、家庭経済員の地区事務での就労を認めた。南部、北部と東北部の各地区には2名、但し比較的小さい西部、東部、中央地区では1名のみの家庭経済員が募集されることになるだろう。

事実、地区普及事務所は、州普及事務所に対し直接の監督責任はない。そこからは直接DOAC主管庁の局長に報告がなされる。

10-3 州事務所

各州事務所には、約10名の普及員が居り、所長1名と補佐2名が含まれる。この州レベルでは、家庭経済員はいない。男性又は女性の農業専門員も1名にすぎず、その役目は農村婦人計画を処理することである。

10-4 地方事務所

各地方農業普及事務所には、約7～8名の農業普及員と1名の家庭経済員がいる。家庭経済員は、農村女性グループ及び若者のグループのための、家庭経済員プロジェクトの責任者である。地方及び下部地方レベルでは普及員は男女双方がいる。これらの事務官は、女性及び男性双方の依頼人（クライアント）に助言を与えることになっている。しかしながら、地方分野での分化的障壁はなく、両性共に男性及び女性グループと活動することができる。

10-5 1982～1986年におけるDOAEの総合政策

A. 経済面

1. 第5次国家経済・社会開発計画の定める目標に合致するためにすべての主要な経済的産物にとっての生産活動を促進すること。
2. それぞれの現場にとり経済的に重要な作物の栽培技術の推進。
3. 適切な技術により、すべての主要な経済的作物の生産費の減少。
4. 貧困集中及び進歩的な地域の双方での農民に適切な普及情報の提供。
5. 家畜、魚類、森林、土地等の、その他の農業生産活動につき、農民に普及活動の手を差し伸べること。
6. 農民を利するために、信用・マーケット提供志向の諸機関との協力。

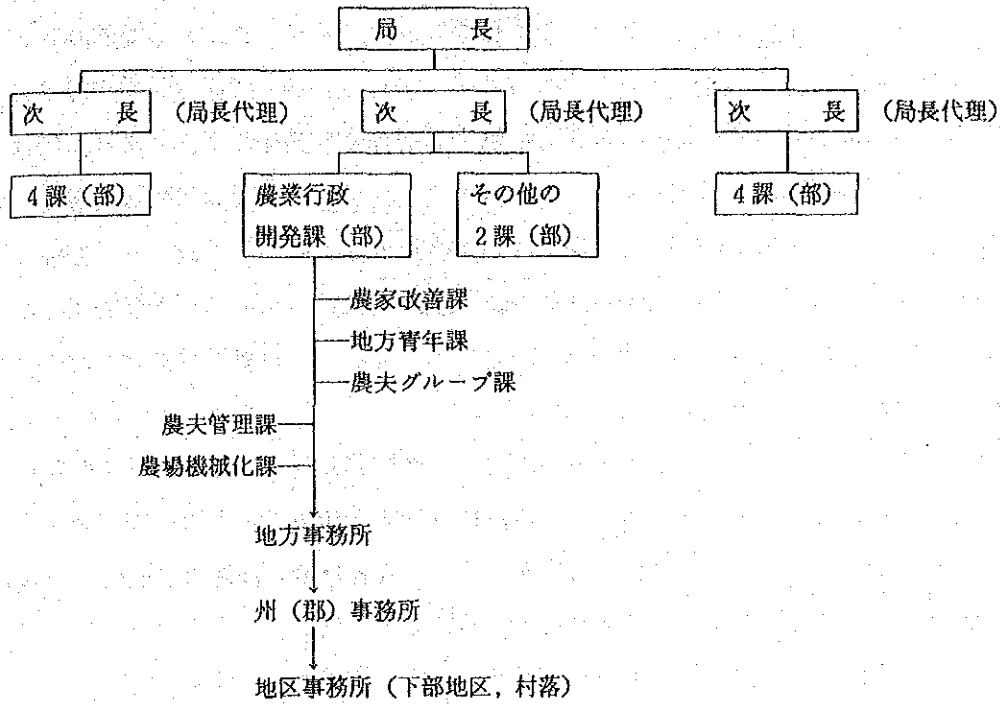
B. 社会面

1. グループ組織化を通じて、近代的な農場生産技術と家庭経済情報を活用するように、すべての農村家族を活性化すること。
2. 地方農村人口における生活の質の向上のための統合的農業開発アプローチの促進。
3. よりよき市民となるために、農村人口の教育の助成。
4. 地方分野において、立案された社会開発計画促進のため、その他の政府及び民間諸機関との協力。

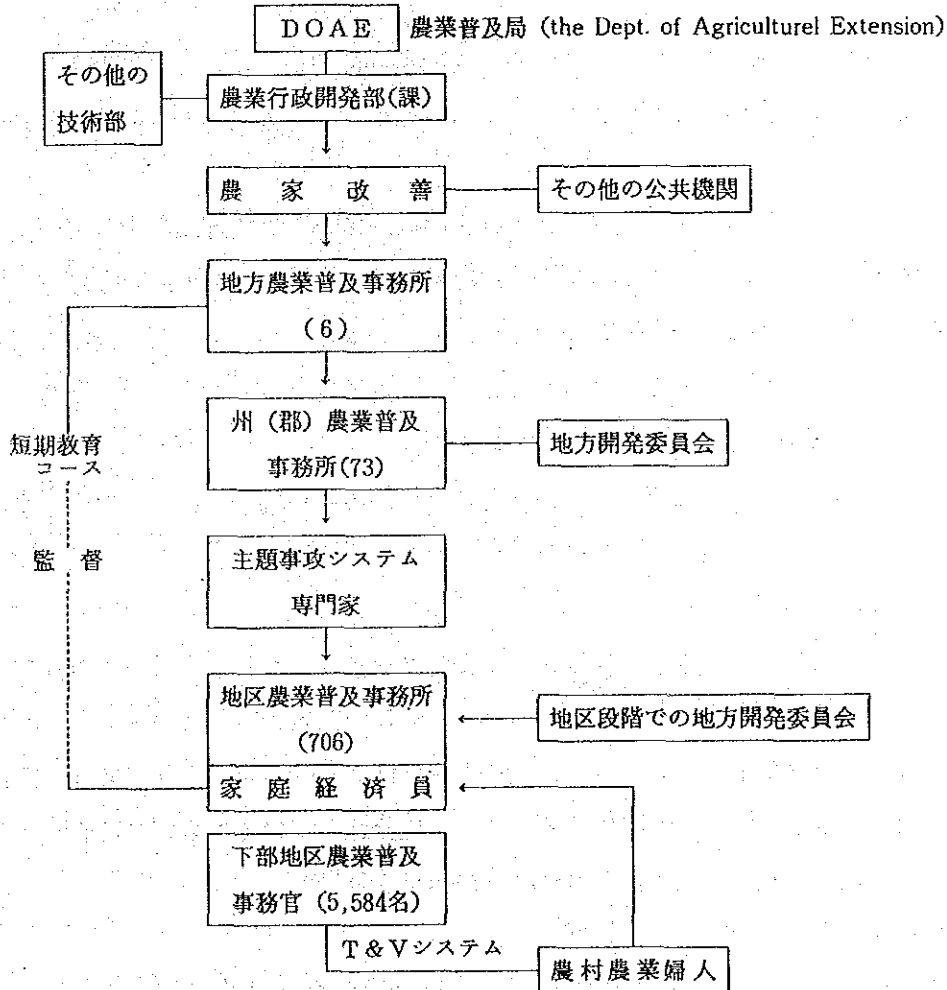
10-6 農村婦人クラブ

農村女性が、農業開発の一員に加わるべきことが益々認識されて来ている。このため、普及活動員は、農業技術上のノウ・ハウ及び家庭経済情報受入の手段として、「農村婦人クラブ」形成につき農村女性を激励している。この運動が成功したことは、農村婦人クラブの数とその会員数の劇的な増加が示して居り、1976年には農村婦人クラブ数276、会員数7,570名に対して、1985年にはクラブ数6,563、会員数187,622名である。村レベルでの農村婦人クラブのメンバーは、ボランティアと考えられる。彼女達は他の農村婦人がその共同社会での活動に参加するよう、説得してゆくことであろう。現時点では、タイの農村婦人の参加は、発展途上国での女性農業従事者の間では最も高い。

農家改善局の組織



農村婦人計画の公共機関組織



11 技術からの婦人の排除

女性の啓蒙計画につき、農業分野に於て未だに農業開発におけるパートナーとしての婦人よりも、伝統的な女性の役割が強調せられていることに言及がなされた。この間違っただけの態度の不利な影響としては、農場婦人にとり、技術情報及び教育に接する機会の不適切なことである。農業省及び関係機関下のすべての部局は、農業活動における目標グループの一員としての農場婦人に対しては注意の払い方が少ない。機械化、食物生産及び用水供給の分野における訓練は、男性のみに課せられている。農業生産における女性の生産的役割は家族の生計のための「自家雇用」としてであれ、農場における賃金労働者としてであれ、看過されている。女性農場労働者のために改造されうる技術及び器具は多い。例えば

——米作の新技术は常に男性グループに与えられる。現在、農業普及局は地方的多様性の代りに新品種の米を使用する計画を有している。この計画には婦人も含みうるとの示唆がある。

——家畜局は、肉処理のみに関して女性団体に技術を授けた。女性は食料調理の混合あるいは動物用の飼料探しをせねばならないが、この技術は女性は関与しない。

——農場機械化局は、その目標団体の一つとしての女性を一度も活用していない。

女性の使用する器具及び小機械に関する新技术すら、農場レベルでの婦人に普及されることがない。

従って政策レベルでは、農場婦人の役割は伝統的な女性の役割についてのみしか理解されていない。その結果、普及員達は女性労働及びその必要とするものに関する技術と器具の普及の必要性を理解していない。

Bangkokからさほど遠くはない野菜栽培地帯では、婦人の約95%がその主な職業として野菜栽培の責任者である。普及員（女性）が、野菜栽培の技術は誰に授けたのかとの質問をうけた。躊躇なくその普及員は、技術は男性に与えられたと答えた。自分も女性であるその普及員は何故にこの知識を、女性に授けなかったのだろうか？彼女は、自分は農学者であり女性の活動は農学者の義務でない。女性の活動は家族経済員に専属すると答えた。

農業省及び諸関係機関下のすべての部局に於て、女性のための技術が論議される時は必ず、食物の保存、食品加工、織物、手工芸及び栄養に限られている。その結果、タイにおける適切な技術は、地方女性の需要に対応していない。

タイ国東北のある村では、ポンプで水をくみ揚げる連鎖管が取入れられたところ、その村長が自ら設置とメンテナンスの技術教育コースに派遣される時期を尋ねられた。その答えは、「新規な事柄の習得の速い若い人々を派遣しましょう。人選は少女ではなく少年とすべきである、少女は少年と同じく有能だが、技術的な事柄は少年の方がよい。自分としてはその教育には少年を派遣したいと思う。」とのことであった。（村長との会談、1985年5月）

12 農業生産における女性の作業

本報告で強調した如く、農場女性の労働は隠されており十分に認識されたことは一度もない。

技術の大半は農場労働の50%しかいない男性に教えられる。農業婦人は、多くの活動での責任をとらねばならないのみならず、自分達の仕事を見事に遂行している。農業及び食料生産における女性の役割についてのある研究の伝えるところでは、移植、収穫、雑草の除去、種子の用意、施肥、家禽の飼育、魚業及び市場での売買について、農場女性の生産性は以下のリスト（註1）の如く高いとのことである。

（註1） Sumala Sirichoti, 「農業及び食物生産における助成の役割」 Kasetsart 大学1985。

1978年でのコミュニティー開発局は、地方女性の需要を調査した。

作 業	女性の果たす仕事 (%)	生産性指標
— 移 植	50	100
— 施 肥	45	90
— 雑草除去	50	100
— 収 穫	50	100
— 脱 穀	36	80
— 家禽の飼育	50	100
— 魚 業	50	100
— 市場での売買	500	100

13 農業教育における婦人にとっての必要な事柄

地方女性は常に多くの機関による技術教育から除外されて居り、それらの機関はいまだに、所得諸活動よりもむしろ、伝統的な女性の役割を強調していることが指摘せられている。

調査（註2）によれば、面接した女性の70%が農業は彼女達に最も適切な職業であり、最高の収入をもたらすものと考えている、とのことである。彼女達の希望は、農業活動、特に畜産と野菜栽培における一層の教育であった。家庭内の手工業生産の教育に対する関心を示した者は極く僅かであった。このことは、地方婦人が地方では入手できない技術と材料の取得及びその生産物の市場売買に、公平な配置の獲得における援助を必要としていることの証左である。

14 農民グループ

農民諸団体は、王国全土にわたり、農民達にグループ作りをすすめる普及活動により新しく始められた。1972年以来、これらの農民団体は法人として登記し、どのような事業・取引をも行う権利を取得した。

農民諸団体を法律により組織化する目的は以下の通りである。

- 農業の促進と技術援助の供与。
- 貸付及び信用供与。
- 農業設備と供給品の分配。

—農民による生産物の市場売買向上の保証。

1985年において、3,827の農民グループがあり、515,644名の会員から成立している。同一職種の農民は一つの地区で1グループのみ、会員数は30名以上で設立することができる。

(註2) 共同体開発局による、タイ全土にわたる24,031名の主婦との面接調査。

農民グループに関する資料 (1983年7月)

職 種	グループ成員数
—米 作	2,489
—園 芸	367
—畑 作	610
—漁 夫	114
—牧 畜	206
—水産動物の養殖	31
—かいこ	8
—マッシュルーム栽培	1
—果樹園栽培	1
合 計	3,827

メンバーとなることの規則が定められているため、上記3,827名の農民団体構成員の大半が男性である。各構成員は1団体のみ所属し、且つ1家族1名しか団体への加入が認められていない。規則と分化的除外によって女性は、法律には農業団体への加入は認められていない。それ故女性は農民グループ設立と同じ目的の農業婦人団体が設立されねばならないが、しかしこの点は一度も法律化されなかった。

15 農業分野における婦人公務員

タイ婦人は現在多数の職業に就いているが、それは凡ての部局では募集についての差別はないためである。農業分野では、極めて多数の婦人が公務員である。彼女達は、調査官、農業経済学者、園芸普及員で、又農業技師もいる。

これらの女性公務員の仕事ぶりは極めて、特に調査・普及の分野で優秀である。彼女達は、国内外で高等教育を勉学する男性と同等の機会を有している。しかし乍ら、農業省及び諸関係機関では女性に比べ、男性公務員数が多い。理由は女性が農業科学の対象よりも社会人的対象を取上げることを好むからである。

16 将来の展望

1. 過去の開発努力と経済的進歩のみが、地方の役に立ったということが認められている。土地、水資源、森林及び漁場を含む基本的な経済資源は、何ら保存の努力なしに、乱獲され又は

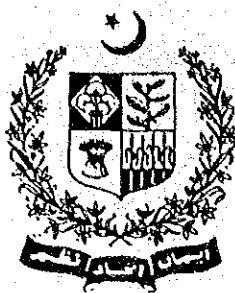
浪費された。地方人口は過去の開発努力からの利益を受けなかったし、いまだに全くの貧困の中で生活している。その結果、男性は地方から都市部へ移住し、そのことは女性を家族の長とし地方女性に何らの準備なしに仕事を引受けさせることになる。若い女性の都会での職探しのための移住の傾向はしばしば事業上の損失である。従って、地方部での基礎的な需要充足という形での予防手段は、地方部での雇用促進であろう。これにより女性達は、サービス部門を求めて都市に流れるよりはむしろ定着するはげみとなろう。

2. 近代技術の使用が徐々に今日タイ国に現れつつある。それは資本集約的で且つ都市に基盤を置いている。のみならず、女性に対する特殊な偏見に傾いている。多くの国に於て、農業の機械化は総じて農業生産における女性の雇用のみならず女性の関与を減少させている。近代技術の無制限な普及に対しての選択肢としての適切な技術が、特に地方の貧困者及び女性の利益となるように推進されているけれども、必要なのは生産器具の一層の技術開発である。そして婦人は教育コースに参加すべきであるが、これらは、現在のところ男性農業労働者に向けられている。
3. マーケティング・システムと価格保証については、村人は殆ど商人と値決めをする中産階級男性に依存しているので、改善の要がある。生産者の交渉能力を増加するためのグループ形成に基づく新しいマーケティング・システムが考慮されなければならない。タイ国におけるマーケティングでの女性の伝統的な役割は、今日しばしば多くの開発計画にみられる場合の如く、それから彼女達を排除するものでもなかったし、又見るべきものがあつた。
4. 地方開発は、数十年の間成功をみず、地方開発活動は女性よりも男性グループに力点を置いてきたことが示されている。活動において性別グループ分離することは、地方開発計画にとって大変な制約であつた。地方部に於ては、夫、妻、子供達は、彼等の内部で良好な関係を保っている。地方女性自身は家事と手工芸品に従事しながら、家庭にこそ留まるべきであるとはもはや思っていない。多くの場合、職を求めてその農場を離れることは、婦人にとっては困難である。それ故、地方女性にとっては農業に基づく諸活動を通して、社会並びにその家族の双方に寄与しうることが最善であろう。教育としては、異ったタイプの諸活動の導入による農業活動での改良を強調すべきである。これらは家庭消費のみでなく、商業的な目的にも関係すべきである。
5. 国際労働機関 (ILO) の計算によれば、21世紀には労働力における女性はタイ国では17百万人に達するであろう。その時点までに工業分野はこれだけの規模の労働力を支えるに足るほど拡大しえない。従って、農業分野はまだ労働力の市場である。

しかしながら、農業分野は土地と天然資源が限定されているので、これ以上の拡大は望むことができない。従って、人口増加率は減少が必要となる。小規模の家族と子供の間隔を空けるといふ新しい人口概念を、男女両性の態度と実践の変化により、支持しなければならない。両性とも本人達で社会的、経済的及び政治的決定に従わねばならない。女性は家事を行わねばならぬという伝統的な考え方は、実際問題として変えなければならない。男性は家事を分担すべきである。

3) パキスタン—WOMEN'S DIVISION

(全和訳)



WOMEN'S DIVISION

Organisation & Activities

WOMEN'S DIVISION
GOVERNMENT OF PAKISTAN
ISLAMABAD, PAKISTAN

September, 1988

CONTENTS

	Page
Establishment of the Women's Division, its Functions and Organization	1
Evolution of Policy	3
Women's Rights.	5
Development Programmes.....	9
Recent Programmes.....	11
Research	18
Annexure I	21
Annexure II.....	27



ESTABLISHMENT OF THE WOMEN'S DIVISION AND ITS FUNCTIONS

Some efforts were initiated during the period preceding the Fifth Five Year Plan (1978—83), mainly through constitutional provisions and legislative action, to provide equality of opportunity to the women of Pakistan in various spheres of life. The overall social and economic conditions of women did not, however, register much improvement, primarily because the government sponsored reforms, educational activities, and development oriented programmes remained generally confined to certain segments of the urban middle and lower middle classes, and their benefits did not accrue to the large majority of women, specially those living in the rural areas. In course of time, therefore, the need was inevitably felt for giving greater and more concentrated attention than before to the critical issues and urgent problems affecting women in Pakistan.

The Women's Division was created in January, 1979, as a special organ of the Federal Government to substantiate the fact that upholding the status and enhancing the socio-economic role of women is a national imperative, not a condescending concession.

The Women's Division is directly under the President, a clear sign of the importance attached to the issues of women. It has been pursuing the following objectives:—

- (1) to formulate public policies and laws to meet the special needs of women;
- (2) to register and assist women's organizations;
- (3) to undertake and promote projects for providing special facilities for women;
- (4) to undertake and promote research on the conditions and problems of women;
- (5) to represent the country in international organizations dealing with problems of women in bilateral contacts with other countries;
- (6) to ensure that women's interests and needs are adequately represented in public policy formulation by various organs of government; and

- (7) to ensure equality of opportunity in education and employment and the fuller participation of women in all spheres of national life.

From the work so far accomplished by this Division it can be seen that these are not merely token functions but are being continuously put into practice as far as possible within the limitations of the situation.

The establishment of Women's Division has set the direction, at the national level, for purposeful action towards the good of women in Pakistan. This was duly reflected in the Sixth Plan (1983—88) and now in the Seventh Plan (1988—1993) wherein a separate chapter was included to identify policies and programmes meant to tangibly improve the conditions of women in education, health and social welfare, population planning and employment, besides the integration of women in all concerned sectors.

Organization

The Women's Division is composed of seven Wings:—

- Administration
- Women's Rights
- Research
- Programme
- Special Women Action Programme (SWAP)
- Implementation
- Monitoring & Evaluation

Its other important foci are:—

- (a) Pakistan Academy for Women's Development.
- (b) Women's Training Institutes.

The headquarter of the Division is located at Islamabad and Co-ordination Cells have been established in the Planning and Development Departments of the four provinces and Azad Jammu and Kashmir to provide liaison with other line departments dealing with women's programmes in various fields. The existing structures of the Provincial Governments, and NGOs are used for implementation of these programmes.

Funds

Total funds provided for development programmes from 1979 to June 1988 amount to Rs. 893.963 million. An amount of Rs. 192.524 million has been made available for these programmes during 1988-89. The utilization of funds allocated upto 1985-86 was 91% but during 1986-87 and 1987-88 the utilization was almost 100%.

International assistance

In response to the Women's Division's efforts, a number of foreign donor agencies are showing keen interest in providing assistance for women's development programmes in Pakistan. The donor agencies who have provided financial assistance for such programmes include Government of Netherlands, I.L.O., UNDP, UNICEF and USAID.

The major programmes under this assistance include female matric education through distance learning, craft development, secretarial training, monitoring and evaluation of women's projects and increasing the capability of project documentation for women's development.

EVOLUTION OF POLICY

Observation and experience have indicated that in the past a mere 'social welfare' approach had dominated most of the planning for women.

The policies for major social services sector such as health and education have been made on a national level since 1947 and women have no doubt been their direct or indirect beneficiaries. But in the fields of economic activities such as the sectors of industry, agriculture and science & technology sufficient attention was not paid to women's development. Therefore, in the emerging eighties, the Women's Division took the lead in identifying the needs of women in these and other neglected areas and in visualizing their new role in many non-conventional fields previously occupied exclusively by men. Secondly, in view of an acute paucity of training skills on one hand, and of available service on the other hand, the Women's Division prepared programmes which started to answer the needs in both directions. The Women's Division has endeavoured at the Federal & Provincial level to influence policies by which women may now be accepted as part of human resources like men in national development. This approach has been directed towards accelerated expansion of opportunities of technical education, skill development and employment.

In pinpointing gaps and foreseeing a multiple role and multisectoral possibilities in development, the Women's Division has been bringing fresh vision to the various line departments in the provinces who are generally pre-occupied with their own targets and do not have enough time or resources to devise projects exclusively for women.

This Division will continue to play multiple role of a planner, financier, coordinator, advocate and lobbyist. It is a tough job because this Division is expected to look after the major facets of women's problems and priorities with modest administrative and financial resources.

Policy Implications for the Seventh Plan

The Seventh Five Year Plan (1988—93) would attempt to translate three imperatives, presented below, into specific goals and tangible actions, the details of which are given in the plan document:—

Imperative-1

The plan acknowledges that women have been neglected and affirms that low productivity, illiteracy and poor health are the moral, social and economic costs of this neglect.

Imperative-2

Within an overall development context, social efforts will be made for the uplift of women through the provision of full equality of opportunity in education, health, employment and all other spheres of national life.

Imperative-3

An awareness among both policy makers and public at large of the discrimination women suffer and its economic and social cost will be created.

With these imperatives in view, the 7th Plan affirms that the Women's Division will be strengthened to meet the growing demands for the growth and expansion of its projects in various sectors of development.

WOMEN'S RIGHTS

Constitutional and Legal Provisions

The Constitution of Islamic Republic of Pakistan through a number of Articles, accords equal status and opportunities to women in all spheres of national life. Exclusive Articles provide protection against discrimination on the basis of sex, protection for women and children, special representation to women in local government institutions, full participation of women in national life, and protection of family, mother and children. These Constitutional provisions are reflected in the following statutes:—

- (a) The Guardian & Wards Act.
- (b) The Child Marriage Restraints Act.
- (c) The Mines Maternity Benefits Act.
- (d) The Muslim Family Laws Ordinance.
- (e) The West Pakistan Family Courts Act.
- (f) The Dowry and Bridal Gifts (Restriction) Act.

Contribution of the Women's Division

Protection of women's rights as given by the Constitution and the statutes is an important function of the Women's Division. The Division has, therefore, kept a close watch on the implementation of these statutes and petitions received from the affected women, who have been denied their rights under the law, have been assiduously followed up in order to provide redress of grievances. These petitions related to diverse problems such as discrimination in employment and service matters, disputes about property and family laws, denial of benefits provided under the law, etc. The problems have been taken up with the concerned departments and where necessary suitable legal aid has been provided.

The Women's Division has successfully resisted attempts to abridge or take away the rights given to women under various laws. In this connection the Division has resisted attempts to annul the Family Laws Ordinance since 1981.

The Women's Division has also advocated greater representation of women in the local bodies. It initiated a proposal to increase the number of reserved seats for women in local councils and to reserve atleast 2% of the local council's budget for women's programmes.

The poor representation of women in various administrative cadres not only reflects lack of access to employment opportunities but also results in application of various laws and regulations prejudicial to their interests where they are party to the case. The Women's Division has, therefore, prepared schemes for recruitment of lady ASIs/Constables and Lady Magistrates/Judges which will not only redress the imbalance in employment to some extent but will also result in dispensing better justice to women who might be party to the case.

The Women's Division played an active role in preparing recommendations for women's programme for the 6th and 7th Five Year Plan.

As mentioned below the Women's Division is following up the recommendations of the Pakistan Commission on the Status of Women with the Provincial Governments and NGOs. These recommendations are quite comprehensive and encompass the entire spectrum of women's rights.

Pakistan Commission on the Status of Women

At the suggestion of the Women's Division, Pakistan Commission on the Status of Women was set up in 1984 with the following terms of reference:—

- (i) to ascertain the rights and responsibilities of women in an Islamic society and to make recommendations to the Federal Government for effective safeguards for women's rights;
- (ii) to advise the Federal Government on measures to provide educational, health and employment opportunities for women;
- (iii) to identify what services women can render in eradicating ignorance, social evils, poverty and disease in the country; and
- (iv) to suggest measures to integrate women of minority communities in the national life.

The Commission submitted its report containing 283 recommendations. These are receiving active consideration of the various Ministries & agencies of Government of Pakistan for implementation. The Women's Division is coordinating action in this behalf.

Facilities for women prisoners

Women's Division arranged a survey of the condition of female prisoners and in consultation with the Provincial Jail Departments approved 15 schemes for physical and vocational facilities.

Enforcement of factory legislation

One section of the female population that needs social services and welfare programmes is of factory women. The implementation of the recommendations of the studies on factory women undertaken by the Women's Division is being taken up with the Labour Division and Provincial Labour Departments.

Welfare for self-employed women

No measure has so far been taken to protect the self-employed women from exploitation and assist them in increasing the quality and quantity of their production. Realizing the situation, the Women's Division is planning to establish a Guidance Bureau for Self-employed Women in Karachi and Lahore in the first phase.

National Conferences

Most women in Pakistan lack confidence due to illiteracy to carry social, economic and political responsibilities. Creating awareness in them is a first step towards preparing them to meet the challenge of modern times. National Conferences on the following themes were organized from time to time:—

- Education
- Health
- Local Government
- Muslim Women
- Non-Governmental Women's Organizations
- Science & Technological Development
- Women and Media
- Women and Environment

Grass root seminars

Another step for creating awareness at the local level was the organization of grass root seminars. These seminars were organized at District

and Tehsil level to make women conscious of their needs, interest, problems and rights and responsibilities such as civic duties, child care, health, hygiene, adult literacy and legal aid and to secure proposals from them for launching new development programmes.

Workshops

The Division organized the following workshops and plans to organize in the near future, a number of workshops, seminars and conferences to deliberate upon and to stimulate the pooling and exchange of information, ideas and data pertaining to issues of vital concern to women and their role in development:—

- (i) Workshop on Review and Appraisal of the Achievements of the UN Decade for Women held on 24th January, 1984 in Islamabad.
- (ii) Workshop on Statistics and Indicators on Women and Development held on 2—6 November, 1986 in Islamabad.

Sponsorship of seminars and conferences

The Women's Division has sponsored the seminar on Legal Aid which was held on 27—29 October, 1987 at Quetta to discuss the areas and clientele needing legal assistance, causes of litigation involving women, bottlenecks in legal framework to remedy such causes and to assess the working of legal aid societies, as well as projects funded by the Women's Division so far, legal literacy and legal aid network. As a follow-up the Women's Division is in touch with the Pakistan Bar Council and Provincial Governments for undertaking a project for providing legal aid to the women. The Division also sponsored conference on Crimes against Women which was held on 9—11 April, 1988 at Karachi.

International Organizations

The Division coordinates the representation of Pakistan in International organizations dealing with the problems of women and in bilateral contacts with other countries. From 1979 to the close of the calendar year 1987 Pakistan was represented through nominees of various agencies including non-governmental women's organizations, in about 60 international conferences, seminars, workshops, meetings etc. throughout the world.

SAARC related activities

During the first Summit of the South Asian Association for Regional Cooperation (SAARC) held at Dhaka in December, 1985, Pakistan proposed that participation of women in SAARC related activities should be increased and encouraged. This suggestion was accepted by the other regional leaders and it was decided to hold a Ministerial meeting to identify the areas of activities and to chalk out a programme of action for the active participation of women in the regional development process. To implement this decision, Pakistan participated effectively in the SAARC Ministerial meeting on Women's Development in May 1986 and SAARC meeting held at New Delhi in April, 1988. Pakistan also participated in three meetings of the SAARC Technical Committee held in India in October 1986, May, 1987 and October, 1987. Further, Pakistan attended SAARC workshop on "Women in Agriculture and Extension" held in Dhaka on 17-18 July, 1988.

In pursuance of the SAARC Programme of Action for Women's Development, Pakistan hosted a SAARC Workshop on "Women and Environment" at Islamabad on March 28—30, 1987 and will organize a seminar on "Utilization of Research in Planning and Implementation of Programmes for Women in Development" from September 3—5, 1988. Pakistan will also be participating in the SAARC workshop on "Girl Child" to be held in New Delhi on 19—23 September, 1988.

DEVELOPMENT PROGRAMMES

The Women's Division spends its development budget on projects in the traditional as well as new sectors which are vetted and sponsored through it.

SECTOR-WISE PROJECTS

Agriculture, livestock and cooperatives

Women for ages have been working in agriculture and related fields but their skills in these fields need improvement and upgradation according to technological development and the modern needs of the market.

Women's Division has sponsored 139 projects in agriculture, 68 in sericulture, 3 in dairy development and livestock, 165 in poultry breeding and 6 in expansion of cooperatives. The latter project is of special significance.

Community development

Community development projects include community halls, integrated sports complexes and parks for under privileged women in congested areas.

191 community halls and centres have been set up all over Pakistan; 60 in Punjab, 66 in Sindh, 41 in NWFP, 20 in Baluchistan and 4 in Azad Jammu and Kashmir/Federal areas. These community halls are meeting places and training premises for women in multiple skills and services.

Concern to integrate women quickly in development, often leaves their recreational needs unattended. This is fully recognized by the Women's Division. 3 integrated sports complexes in Punjab have been set up. 5 parks for the under-privileged women have been set up in Sindh and NWFP. Women's Division is now planning to provide cultural outlets to deprived female population through production of audio-visual cassettes for recreational, educational and social purposes.

Education

The Women's Division has sponsored projects which cater to the needs of diverse female population ranging from illiterate women to science students.

The projects include 6395 units for adult education, 21 polytechnics, 26 vocational training centres, 32 commercial institutes/classes and 2 commercial training centres all over Pakistan. The Division has offered the provincial governments to upgrade existing science laboratories as well as set up special laboratories for advanced science for women. It has also offered scholarships in science.

Polytechnics & vocational training

The Women's Division through the Technical Education Boards of the Provinces is running 21 Polytechnics where women are trained in technologies such as electronics, refrigeration, repair and maintenance of household appliances, ready-made garments. More than 400 girls qualify for diploma each year and they are quickly absorbed in the government and private organizations. Under the Umbrella Scheme Women's polytechnic scheme will be extended in phases from 20 Divisions to 84 districts in the next five years. Besides, this Division has financed 34 vocational and technical training centres in the country.

Commercial institutes/classes

There are 32 commercial institutes/classes where secretarial training (shorthand, typing, book keeping and secretarial procedures) is imparted.

Health

The Women's Division has made efforts to reduce the shortage of medical facilities for women and their inaccessibility to health sector through mobility support at primary health care level, female wards, maternity and child care, mental health, prevention of communicable diseases and training of nurses, lady health visitors, birth attendants, medical technicians and para medical staff. There are 183 training projects all over Pakistan.

Industries

In order to further promote women's participation in labour force, several projects in industries have been set up. These include 1 leather product training centre, 53 carpet/durce centres, 6 ready made garments/hoisery centres, one block printing, screen printing, tie and dye centre, one cooperative training centre, 1 hand loom weaving centre, 1 appropriate technology centre, 2 craft emporiums/centres, 1 display centre, 1 tailoring-*cum*-cutting and knitting centre, 3 handicraft development centres, 1 training institute for cottage industries.

Social welfare

Women's Division has provided two types of social welfare services. Firstly, support services such as hostels and day care centres to facilitate women's participation in labour force. Secondly, services to meet the needs of special target groups such as run away women, deserted women, divorced and separated women or special needs *i.e.* legal aid for poor women. In the former category, there are 68 hostels and 173 day care centres. The latter category includes 39 legal medical aid centres, 1750 industrial homes/multipurpose centres, 2 Darul-falah/Darul-aman, one prisoners welfare centre and one residential institute for blind girls.

RECENT PROGRAMMES

The last two years *i.e.* 1986-87 and 1987-88 are of special significance as they have witnessed new dimensions for women's development. A number of

bold and imaginative initiatives have been taken to enlarge and diversify the areas of training, employment and provision of services. Some of the recent programmes are as follows :-

Academies for training of rural development workers

No rural uplift is possible without professional cadres. Efforts are underway to train a cadre of 6,000 women rural workers — one for each of the 4,200 union councils and one worker for every unit of 25,000 population in the 400 urban localities. These workers would act as agents of change, organize, educate and plan women's activities in rural areas. They will work through existing institutions and also help in organizing new groups and associations. Four such institutes are being started at Sahiwal, Nawab Shah, Mansehra and Pishin.

Academies for training of urban development workers

There was a long felt need for developing professional cadres of women's development workers in urban areas, who will provide services as para medics, skilled teachers and community organizers. These workers would also act as referral points and liaise with existing institutions, service outlets, local councillors, public officers and non-governmental organizations. Two training academies, one each at Karachi and Lahore, are producing 200 workers annually, on a national net-work. These workers are being absorbed mainly into NGO sector.

Pakistan academy for women's development

As need for continuation of such a project on permanent basis is well established, land has been acquired to construct a building for the Academy at Islamabad. The academy will provide facilities for training of trainers for the women's development programme, train NGO personnel in accordance with their requirements, standardize curricula for Women's Training Institutes in the provinces, arrange inter-provincial diffusion of experience and information and serve as a focal point for dealing with international agencies in training matters. It will also have clearing house and data bank to serve as a national resource centre. An auditorium for seminars etc. is also being provided.

Women in agro industry

An initiative has been taken in collaboration with the Fisheries Training Institute, Lahore, for training of 480 women in fish culture as a sequel to earlier schemes at the Agriculture Training Institute, Sargodha. A Fruit and Vegetable Preservation Centre was set up at the Punjab Agricultural Research Institute, Faisalabad, for training 100 lady teachers annually in the latest techniques of fruit and vegetables preservation. A similar scheme is approved for training 50 women field assistants at Agricultural University, Peshawar. Sericulture has been expanded at several centres in the Punjab, NWFP, Baluchistan and Sind.

Mobile dispensaries

Realizing the shortage of medical facilities in far flung rural areas and the reluctance of medical staff to be stationed there Women's Division has given mobility support to provincial health departments as well as NGOs for provision of medical service for women and children at their door steps. The Division plans to provide the service at district level. So far 22 mobile dispensaries were sanctioned last year and another 30 are being provided this year. An Eye Hospital Ward has been set-up at Data Darbar Hospital, Lahore and a mobile eye camp will also start. Additional vehicle support has been provided to NGOs in the fields of health and population welfare through the NGO Co-ordinating Council.

Legal aid

Provision of legal assistance to needy women has been one of the concerns of the Division. A number of projects for providing legal aid to women prisoners have been funded in Punjab, NWFP and Sind. With a view to evaluating the performance of these projects and to work out the modalities for expansion of the legal aid system for women, a seminar on the subject was held in Quetta on 27-29th October, 1987. Sixty women lawyers, lady Magistrates, lady Civil Judges nominated by the Provincial and Federal Governments participated in this seminar. The Division plans to extend this facility through Bar Councils at district level throughout the country.

Rural libraries

Poor women are reluctant to attend adult literacy classes because having learnt to read and write they cannot afford to buy books, newspapers/magazines. There was a need to provide incentives to women to read.

The Ministry of Local Government & Rural Development with the help of the Asia Foundation, had established rural-box libraries in each of the 4200 union councils. The Women's Division has funded the establishment of women's sections in these libraries.

Community centres

To serve the female population in rural areas, a phased programme is being evolved for setting up community centres to offer functional literacy, skill training (mainly agro based), basic health, and maternity and child health services. Two such centres will be established in each of the 84 Districts.

Technical training

Encouraged by the performance of first 9 polytechnics for women, the Division is planning to set up such institutions in all the 84 Districts of Pakistan. Subjects such as electronics, architecture and garment technologies have been included in the syllabi of these polytechnics.

Advance secretarial course

An ILO survey report revealed a ready market for 1,000 lady secretaries adept only in typing, shorthand and book keeping, but also in the use of advanced techniques of a modern office such as telex and computer operations. Advanced course with the assistance of the Government of Netherlands is being started in Women's Polytechnics at Karachi, Lahore, Peshawar, Quetta, Faisalabad and Islamabad.

Small credit programme for women

For the first time a five year scheme has been developed to provide small loans to poor women for productive purposes in rural/urban areas on an experimental basis. The scheme will be executed through the National Bank of Pakistan and Small Business Finance Corporation from the funds given by Women's Division. Loans will be free from interest and commitment of a collateral. A detailed mechanism with proper checks and balances has been worked out to minimise the possibility of misuse at various stages. Recovery in easy instalments will be made over a period of three to five years.

Cooperative cadres

Our neighbouring countries have proved the utility of involving women in cooperative ventures. What is initially required at this stage in our country is

to motivate them to organize cooperatives. Therefore, cooperatives have been included in the curricula of urban and rural extension workers trained by the Women's Division. Funding has been made available to provincial government for recruiting and raising official women cadres in cooperative departments for field work in the country.

Appropriate technology programme

A comprehensive training programme for rural women as well as those living in urban slums is being launched in the basic need oriented as well as income generating technologies at selected vocational and other centres in all provinces. The areas to be covered will include biogas and solar energy schemes, dehydration of fruits and vegetables, sanitation scheme, water pumps, cooking stove and ovens.

Non-governmental organizations

A big boost has been given in the last two years to the NGO sector. In several fields these organizations are now enjoying moral and financial support on a large scale. These organizations have been entrusted with training programmes for community development workers, setting up crafts promotion centres, printing and publishing courses, secretarial and computer classes, legal aid cells, garment production centres, dispensaries, etc. Large undertakings of NGOs include hostels for working women, libraries, information centres, first aid and income generating schemes.

Monitoring and evaluation

With increase in the number of projects from year to year, it is imperative to strengthen evaluation and monitoring of programmes and projects undertaken by various agencies with the assistance of Women's Division. Feed back from the field has to be streamlined. With a view to helping the provincial governments, Women's Division is introducing a well planned evaluation system to check and improve projects, remove bottlenecks and provide needed inputs. Evaluation will also aim at finding out the impact of women's development programmes. A national Monitoring and Evaluation Cell is being set up at Islamabad and one such cell is being attached with already existing Women's Coordination Cells, in the provinces.

Mixed facilities

The most visible impact of Women's Division on planning for women has been in the field of physical accommodation. 22 libraries, 1 auditorium and

1 sports complex have been sanctioned. Similarly 12 females wards, an eye out-patients department, and a residential institute for blind girls have been approved. To improve the practical aspects of the subject, 22 Home Economic Laboratories have been provided in 22 girls high schools in NWFP.

Homes for mentally-emotionally disturbed

Among other causes, urban life style, socio-economic maladjustments and psychological stress lead to nervous and mental breakdowns. Women are increasingly becoming exposed to such hazards. Four homes for the mentally distressed providing medical advice have been sanctioned for all the four provinces. Similarly, one centre for treatment and rehabilitation of drug addicts has been approved. More such centres are likely to be established.

Handicrafts — (a) training (b) designing (c) marketing

Handicrafts, if properly promoted, could support the life line of national economy. So far, women have not been prominent in the development of handicrafts except in embroidery. Women's Division has, therefore, sponsored programmes, for training women in rug weaving, durree weaving, gabba making, wood work, papier mache, tilla work leather crafts, etc. In collaboration with the National Crafts Council, this Division is training women for block printing and handloom weaving in Hyderabad, and for brass inlay and ivory inlay in Chiniot. Craft empporia and design centres are being funded through Small Industris with a view to improving and marketing of products in the interior of the country. Establishment of a National Design Centre for women, Lahore by the National College of Arts, Lahore is under active consideration.

Facilities for female prisoners

Inspite of attempts at prison reforms in the past, the state of female prisoners leaves much to be desired. Women prisoners live in unhygienic and congested quarters without basic amenities. Opportunity of learning skills for preparing these inmates for life outside the prison is inadequate. The Women's Division has made a historic beginning in this direction. The offered package of services includes six components: vocational training, functional literacy, religious education, legal aid, T.V. sets, physical facilities like barrack cells, toilets, bathing and washing places, and clinical space for delivery of babies have been provided. The project also offers establishment of a National Institute for Specialised Training and Refresher Courses for Female Wardens.

Women's mobile civil protection training teams

Half of our nation — women are the least prepared for any emergency in peace or war. Therefore, a scheme is being implemented through the Directorate General, Civil Defence, Ministry of Interior, which will provide training opportunities to women in first aid, elementary nursing, fire fighting, air-raid and bomb blast precautions. To achieve this object, eight training teams are being established in the first phase which will impart training to select female sections of public in 28 important towns. This programme will be further expanded next year.

Women's studies at the Universities

The study of womankind has become the leading subject in the academic world at large. For the first time special studies on women will be introduced in Pakistan as a subject in social sciences at the University level. A package project is being negotiated with Vice-Chancellors of selected universities.

Centres of excellence

The Division has sponsored establishment of a Post-graduate College of Nursing each at Peshawar and Lahore. Similarly several general nursing schools have been sanctioned at Divisional level this year.

Training institute for cottage industries

To impart specialized short term training to women of Barani Areas in the fields of food processing and preservation, bee keeping, sericulture, floriculture, home economics, etc. an institute is being set up at Rawalpindi.

NEW PROGRAMMES — FROM JULY 1988 ONWARD

Programmes in the following areas are being planned for initiation or expansion of the existing ones :—

- Drinking water schemes
- Education for peace
- Training of women entrepreneurs
- Production of audio-visual cassettes and their use in educational/cultural institutes.

- Training of female producers of audio visual cassettes.
- Women study circles and libraries on women's issues in colleges (national).
- Information network and resource centres.
- Women's out reach/development programmes.
- Home schools programme.
- Provision of mobile dispensaries at district level.
- Advanced business management training.
- Working women hostels from district to tehsil level.
- Development of female cadres in cooperative societies in 87 Districts.
- Promotion of science education — Upgradation of science laboratories.
- Promotion of sericulture and silk weaving.
- Craft training centres.
- Expansion of appropriate technology programme.
- Legal aid programme including training for para legal aid.
- Women's bazars (shopping centres).
- Women's employment and guidance bureau.
- Convalescent homes for poor women.
- Low-cost housing for female headed families.
- Establishment of purdah parks/recreation centres in congested localities.
- Small credits schemes in rural areas.
- Technical training.

RESEARCH

For the paucity of experts, the Division has to rely mainly on contract research which has been negotiated with the universities, consulting firms, and other government organizations. This has helped build a sizeable contingent of experts specializing in 'Women's Studies' who have in addition to carrying research trained more than 100 field investigators, supervisors and researchers on the conditions and problems of women. However, over the years, in-house research was gradually introduced and so far 44 research studies on the various critical and important women related issues have been undertaken. (Annexure-II).

The studies have made a large number of important recommendations in the areas of education, literacy and non-formal education, primary and adult education, technical and vocational education, Islamic education, preparation of curricula and text books, employment, training and skill

development, role of the media, legal matters, marketing management, health, support services, social control and strengthening of research activities on topics concerned with women in development.

Although all research conducted in the Wing is field-oriented and action-directed. A specific action-oriented study was undertaken in collaboration with the experts from the Research Triangle Institute and International Centre for Research on Women, USA. The study has developed a Pakistan specific micro-computer simulation model : Gender Resource Awareness in National Development (GRAND) which has examined the roles of women and girls in national economic development and proposed some strategies to help improve overall awareness of those roles.

Women's Division is also collaborating with the Federal Bureau of Statistics in undertaking the National Household Survey Capability Programme with particular reference to women's component. This is a joint project of the Government of Pakistan, Canadian International Development Agency (CIDA) and UNDP. This Division is also the national focal point of INSTRAW (International Research and Training Institute for the Advancement of Women.)

Library on Women and Development and Data Bank

A library on women and development has been built up with a collection of about 15,000 books on a wide range of issues pertaining to women, various aspects of their life styles, and their role in socio-economic development.

The concept of data bank has been introduced in the Women's Division's Library, comprising mainly the filled in questionnaires, the computer sheets and other material returned by the consultants/researchers after completing the studies funded and sponsored by the Division.

Documentaries on Women in Development

Presently, a documentary on the programmes and projects of the Women's Division is under production. Earlier, a documentary on "Women at Work" depicting the diverse activities of rural and urban women was produced. The Division proposes to sponsor a series of audio-visual cassettes on issues and projects concerning women.

婦 人 局

組 織 と 活 動

目 次

婦人局の創設及びその機能と組織

政 策 の 進 展

婦 人 権

発展(開発)計画

最 近 の 計 画

調 査

付 表 1

付 表 2

婦 人 局

パキスタン政府

イスラマバード, パキスタン

1988年9月

婦人局の創設とその機能について

第5次5ヶ年計画（1978～83）以前の期間に、種々の生活分野に於て Pakistan の婦人に均等な機会を与えるべく、主として憲法の諸規定及び立法活動により、はじめていくつかの努力が推進された。しかしながら婦人の全般的な社会的・経済的諸条件はあまり記録に留めるほどには致らなかった。その主たる理由は、政府の支援した改革、教育活動及び展開を目指した諸計画が、概して都市の中産及び下層中産階級という限定された領域に留まり、その受益が大多数の婦人、殊に農村地帯に生活する婦人には及ばなかったためである。それ故、時の経過につれて、パキスタンの婦人にかゝる緊急且つ重要な問題点を、従前に増してより広く又より集中的に注目すべき必要性が、不可避的に感じられたのである。

婦人局が連邦政府の特殊機関として1979年に創設されたのは、婦人の社会的地位の確立及び社会・経済的役割の向上は、国家的な命題であって、思想的な譲歩ではない、という事実を実効あるものとするためであった。

婦人局は大統領の直轄で、それは婦人の諸問題に関する重要性の明白なしるしである。その追求してきた諸目的は以下の通りである。

- (1) 婦人特有の必要性に合致した公共政策及び法律の策立。
- (2) 婦人の諸組織を登録し援助すること。
- (3) 婦人のための特別な施設を供与すべく諸プロジェクトに着手しこれらを促進すること。
- (4) 婦人の諸条件及び諸問題に関する調査の着手及びその促進。
- (5) 諸外国と相互に連絡をとり、婦人問題を取扱う国際的諸機関において国家を代表すること。
- (6) 政府の各種機関により、婦人の利益及び要求が適正に公共政策の策立において表明せられることの保証。
- (7) 教育及び雇用における機会の均等性並びに国民生活のすべての分野における婦人のより充分な関与の保証。

本局においてこれ迄達成された業績から、上記が単なる形式的な機能ではなく、状況の諸制約の中でできる限り継続的に実施されてきていることを、見る事が可能である。

婦人局の創設は、国家的レベルに於て、Pakistanでの婦人のための目的を有する行動としての方向を位置づけたものである。このことは、第6次計画（1983～88）及び現在の第7次計画（1988～1993）に適正に反映され、その中においてはすべての関連分野での婦人の差別撤廃のみならず教育、健康及び社会福祉、人口計画及び雇用における婦人の諸条件の明瞭な改善を意味する政策とプログラムを確認する独立の一章が含まれていた。

組 織

婦人局は7部から構成されている。

—管 理

- 婦人権
- 調 査
- プログラム
- 特別婦人活動プログラム (SWAP)
- 実 施
- モニタリング・評価

その他の重要な中心機関としては、

- (a) 婦人地位向上のためのパキスタン・アカデミー
- (b) 婦人訓練機関

本局の中枢部はイスラマバッドに置かれ、協力組織は4州の外Azad Jammu及びKashminの計画・開発課に設立されて、各種の分野における婦人プログラムを所管する他のラインの部課とつながりを持っている。各地方政府の現在の構成及びNGOsがこれらのプログラムの実施に当たっている。

資 金

1979年から1988年6月までの開発プログラムに準備された資金総額はRs. 893,963millionに達する。1988～89間でのこれらのプログラムにつき使われた金額はRs. 192,524millionである。1985～86までに割りふられた資金の使用率は91%であったが、1986～87及び1987～88においてはその使用率は殆ど100%であった。

国際的援助

婦人局の努力に対応して、多数の海外の寄付機関が、パキスタンにおける婦人の地位向上計画への援助の提供について強い関心を示している。

当該計画への資金的援助を提供した寄付機関は、オランダ国政府、I. L. O., UNDP, UNICEF及びUSAIDを含んでいる。

この援助をうけている主要なプログラムには、通信学習 (distance learning) に女性の大学入試教育、職業教育、秘書教育、婦人の諸プロジェクト (実習課題) のモニタリングと評価並びに婦人教育の課題の文書能力の増加が含まれている。

政策の進展

観察と経験によれば、過去においては単なる“社会福祉的”アプローチが婦人のための計画の大半を占めていた、ことが示されている。

健康とか教育といった主要な社会活動分野のための諸施策は1947年以来国家的レベルで行われてきて居り、婦人は、疑いなくそれらの直接又は間接の受益者であった。然し乍ら、工業、農業及び科学・技術といった経済活動の領域では、婦人の教育に対する十分な配慮は払われていなかった。従って問題の生じた80年代に於て、婦人局はこれらのみならず外にも無視された領域での婦人の要求を確認し、これ迄男性が独占してきた多くの非伝統的な分野での彼女達の新しい役

割を具体化することで指導してきた。

第2には、一方における職業訓練、他方における実務的活動の深刻な不足の見地から、婦人局は両方向での要求に応えるべく発足させる計画を準備した。婦人局は、連邦及び地方政府レベルに於て、国連の進展における男性なみの人的資源の役割を婦人にも認めうるが如き諸政策に影響を与えるべく努力してきた。このアプローチは、技術教育、職業教育及び雇用の機会の加速的拡大を指向してきている。

開発においての、ギャップを正確に指摘し、又多様な役割と多方面にわたる可能性を予測する点で、婦人局は、各州における種々なラインの部課に、新鮮なヴィジョンをもたらしてきたが、これらの部課は総じて自分達の目標で手一杯であり、婦人のためのみのプロジェクトを考え出すだけの時間や資金のゆとりがない。

本局は計画立案者として、資金の補助者として、コーディネーター（調整役）として、主唱者兼院外陳情者としての多様な役割を今後共果たして行くことになるだろう。本局が乏しい行政及び財政資金でもって、婦人問題の中での重要点及びその優先度を考えて行くことを期待されているがために、上記は困難な作業である。

第7次計画に対する政策として合意するもの

第7次5ヶ年計画（1988-93）は、下記の如き、3次の命題を個々の目標及び具体的活動に移す試みとなろう。

命題-1

本計画は、婦人が軽視されていることを認め、且つ生産性の低さ、無教育及び健康の貧困がかかる軽視の道徳的、社会的及び経済的コスト（損失）であることを肯定する。

命題-2

全般的な開発の状況に中において、教育、健康、雇用及び国民生活のすべての他の分野において十分に機会均等性を与えることによる婦人の地位向上のため、社会的諸努力が払われる。

命題-3

政策立案者及び社会全般の両者における、婦人のうけている差別並びにその経済的・社会的損失についての注意が喚起される。

これらの命題を考へてみると、第7次計画は開発の各種の分野におけるそのプロジェクトの育成と普及の要求の高まりに合致すべく、婦人局は強化されることになろう。

婦人権

憲法上及び法律上の諸規定

多数の条文によりパキスタンイスラム共和国憲法は、国民生活のすべての分野において婦人に平等な地位と機会を認めている。特別条文により、性別による差別禁止の保護、婦人及び子供の保護、地方政府諸制度における特別な婦人に対する表明、国民生活における婦人の充分な関与、家族、母親及び子供の保護が定められている。こうした憲法諸規定は、以下の法律に反

映されている。

- (a) 後見監督法
- (b) 未成年者婚姻制限法
- (c) 炭鉱母性保障法
- (d) 回教家族法令
- (e) 西パキスタン家庭裁判所法
- (f) 持参金等（制限）法

婦人局の貢献

憲法と法律により与えられている婦人権の保護は、婦人局の重要な機能である。従って本局は、これらの法律の実施運用を注意深く見守ってきており、又法の下での彼女達の権利を否定された、被害婦人から出された請願は、その精神的苦痛の補償を与えるため十分な配慮が払われてきた。これらの請願は、雇用及びサービス業における差別、財産及び家族の諸法律についての紛争、法の下に与えられている利益の否認等々多様な問題に関連していた。これらの問題は、所管の部課により取上げられ、そこで必要適正な法的援助が与えられた。

婦人局は、各種の法律により婦人に与えられている権利の省略化又は価値の骨抜きに対する試みとの戦いに成功してきた。この関係では、本局は1981年以来家族法条例の廃止の動きに抵抗している。

婦人局は又地方の諸団体における婦人の代表選出の増大を擁護している。地方の諸委員会における婦人の予定議席数の増加並びに婦人に関する諸計画について地方委員会の予算は少なくとも2%を確保する提案も新たに提出した。

婦人の各種行政幹部における代表者数の乏しさは、雇用機会への参加の不足を反映しているのみならず、彼女達に関係している事実の利害関係にとって、種々の法律及び規制の適用において不利な結果となっている。そのため、婦人局は、婦人の ASIs/警察官及び婦人治安列車/裁判官の新規登用案を作成したが、これはある程度雇用の不均衡を救済するばかりか、その事案に関係するかも知れない婦人へのより適切な公平さの分配となろう。

婦人局は、第6次及び第7次5ヶ年計画の婦人に関するプログラムの勧告案作成に積極的な役割を演じた。

以下に述べる如く、婦人局は、婦人の地位に関するパキスタン委員会の勧告を地方政府及びNGOsと共に守ろうとしてきている。これらの勧告は、極めて広範にわたり且つ婦人権の全領域を包含するものである。

婦人の地位に関するパキスタン委員会

婦人局の示唆により、1984年に以下の委託権限を有する、婦人の地位に関するパキスタン委員会が設置された。

- (i) イスラム社会における婦人の権利と責任を確認し、且つ連邦政府に対し婦人の権利に関する

る有効な保護手段を勧告すること。

- (ii) 連邦政府に対し、婦人のために教育、健康及び雇用の機会を与え諸施策を助言すること。
- (iii) この国における無知、社会悪、貧困及び疾病を根絶することについて、婦人がいかなる活動をなしうるかを確認すること。
- (iv) 国民生活における少数社会の婦人達の差別を撤廃するための諸施策を提案すること。

委員会は、283項目の勧告を含んだレポートを提出した。これらは、パキスタン政府の各省庁による実施のための積極的な検討をうけている。婦人局はこのための活動の調整役である。

女囚のための施設

婦人局は女囚の実態調査をまとめ、地方刑務局と協議の上15項目の身体上及び職業訓練の施設案を承認した。

工場立法の施行

社会活動及び福祉計画を要する婦人人口階層の一つに、婦人工場労働者がある。婦人局により行われた女子工場労働者に関する研究にもとづく勧告の実施が、労働者及び地方労働部局により取り上げられつつある。

自営業婦人のための福祉

自営業婦人を搾取から守り、彼女達の生産物の質・量を高めるための援助の施策は、これ迄にとられたことがなかった。この事態を認識して婦人局は第一段階として Karachi 及び Lahore に自営業婦人のための指導所を設置することを計画している。

国民会議

パキスタンの大多数の婦人は、社会的、経済的及び政治的責任の遂行につき、無教育に起因して、自信を欠如している。彼女達の自覚を喚起することが、彼女達をして近代の要求に適合のための準備をさせる第一歩である。

以下のテーマに関する国民会議が随時組織された。

- 教 育
- 健 康
- 地方政府
- 回教婦人
- 非政府的婦人の組織化
- 科学・技術開発
- 婦人とマスメディア
- 婦人と環境

草の根講習会（ゼミナール）

地方レベルでの自覚喚起のもう一つのステップは、草の根ゼミナールの設立であった。これらのゼミナールは、地方及び Thesil レベルで、婦人にその要求、関心、問題点並びに市民の義

務、子供の養育、健康、衛生、成人教育及び法的援助といった権利と義務を自覚させ、又新しい開発計画に着手するための彼女達からの提案を入手するために設置された。

研究集会（ワークショップ）

本局は、婦人及びその今後の役割にとり極めて重要な関係のある問題点を討議し、それらに関する情報、アイデア及びデータの蓄積・交換を促進するため、下記の研究集会を設置し、又近い将来に若干のワークショップ、ゼミナール及び集会の設立を計画している。

- (I) イスラマバードで1984年1月24日開催の国連婦人10年の業績の検討・評価に関する研究集会。
- (II) イスラマバードで1986年11月2日～6日開催の婦人及び発展に関する統計と指標に関する研究集会。

ゼミナール及び会議の後援

婦人局は1987年10月27～29日に開催された法的援助に関する講習会^{ゼミナール}を後援したが、この会は法的援助を必要とする地域と訴訟依頼人、婦人を含む訴訟原因、法的枠組における困難性をこのような原因の救済と、法的援助活動のみならずこれまでに婦人局が資金を提供したプロジェクト、法的教育及び法的援助のネットワークの評価のために討議するものであった。

その続行として婦人局は、婦人に法的援助を与えるためのプロジェクトに着手するためパキスタン弁護士協会及び地方政府と交渉中である。本局は1988年4月9日から11日 Karachiで開催された、婦人に対する犯罪会議を後援した。

国際的組織

本局は、婦人問題を取上げる国際的組織における、及び諸外国との相互接触におけるパキスタンの代表参加を調整している。1979年から1987年末までパキスタンは、全世界的な約60の国際会議、ゼミナール、研究集会、会合等において民間婦人組織を含む各種機関の被指導者により代表となった。

SAARC（地域協力のための南アジア協会の頂上会議）関連活動

1985年12月、Dhakaで開催された第1回SAARCの期間中、パキスタンはSAARC関連活動での婦人の関与が増加し激励されるべきことを提案した。

この提案は他の地方的指導者達により承認され、更に活動領域を明確にし、地方開発過程における婦人の積極的関与に関する行動計画を立案するための政府的会合の開催が決議された。この決議を実施化するためパキスタンは、1986年5月の婦人開発についてのSAARC閣僚会議及び1988年4月 New Delhuで開催されたSAARC会議に出席した効果を挙げた。パキスタンは又、1986年10月、1987年5月及び1987年10月に開催されたSAARC技術委員会の三回の会合にも出席した。のみならず、パキスタンは1988年7月17日から18日、Dhakaで開催された「農業及び普及における婦人」についてのSAARC研究集会にも出席した。

婦人の開発のためのSAARC行動計画の遂行に当って、パキスタンは1987年3月28から30日

のイスラマバードでの「婦人と環境」に関するSAARC研究集会を主催したが、1988年9月3から5日まで「婦人開発のためのプログラムの計画化と実施における調査の利用」についての講習会を設立する予定である。パキスタンは又、1988年9月19から23日にNew Delhiで開催される「少女」についてのSAARC研究集会に出席する予定である。

開発諸計画

婦人局は、本局が点検し補助する伝統的及び新規領域における諸プロジェクトにその開発予算を投じる。

セクター方式プロジェクト

農業、畜産及び協同組合

婦人は長い間農業及び関連分野で働いてきたが、これらの分野でのその技術は、技術の発展と市場の近代的要求によって改善と品質の向上を求められている。

婦人局は、農業では139のプロジェクト、養蚕では68、酪農開発と畜産では3、養鶏で165及び協同組合で6のプロジェクトを援助してきた。後者のプロジェクトは、特に有意義である。

村づくり

村づくり計画は、集会所、密集地域での恵まれていない婦人のための総合スポーツ場及び公園を含む。

パキスタン全土に191の集会所とセンターが設置された。パンジャブに60、Sindに66、NWFPに41、Baluchistanに20、Azad Jammu及びKashmir/Federal地域に4。これらの集会所は会合の場所であり、又多様な技術や職業における婦人のための訓練施設である。

婦人の開発を早急に完成させるための関心は、そのレクリエーションの必要をなおざりにさせがちである。この点は婦人局が十分に認識しているところで、パンジャブでは総合スポーツ場が3ヶ所設置された。SindとNWFPには恵まれない婦人のために5ヶ所の公園が作られた。目下婦人局はレクリエーション的、教育的及び社会的目的のため、視聴覚カセットの生産により貧困な婦人層に文化的はけ口を与えることを計画している。

教 育

婦人局は、無教育な婦人から理科学士に至る多様な女性人口の要求を満たすプロジェクトを援助してきた。

そのプロジェクトは、パキスタン全土にわたって、6395の成人教育の場、21の技術専門学校、26の職業訓練センター、32の商業学校/学級及び2の商業訓練センターの単位含むものである。本局は、地方政府に対して現在科学研究所の質的向上の外、婦人のための特別の上級科学研究所の設置を申し出ている。

技術専門学校及び職業訓練

婦人局は、州の技術教育局を通して、21の技術専門学校を運営して居り、そこでは婦人が例えばエレクトロニクス、冷蔵、家庭用具、既製の衣類の修繕・保存といった技術教育をうけて

いる。400名以上の少女が毎年卒業資格をとり、直ちに政府や民間諸機関に受け入れられている。保護計画の下で婦人の専門技術教育計画は、今後5年間に20の区分から84の区分に段階に応じて拡大される予定である。のみならず、本局は国内の34の職業及び技術訓練センターに助成金を出している。

商業学校／学級

32の商業学校／学級があり、事務の教育（速記、タイプ、会計簿及び秘書的事務手順）が教授されている。

健康

婦人局が努力してきたことは、次の諸点である。婦人医療施設、第一次的健康管理レベルで移動車等の助けによって健康センターに彼女達が行けないこと、婦人病棟、妊産婦と子供の看護、精神衛生、伝染病の予防と看護婦の教育、上流婦人の保健婦、出産付添人、医療技術者、及び補助医療要員の不足を減少させること。パキスタン全土で183の教育プログラムがある。

産業

労働力への婦人の参加を促進させるために、産業における若干のプロジェクトが設定された。これらの中には、皮革生産物訓練センターが1、カーペット／dureeセンターが53、既製衣服／hoiseryセンターが6、凸版印刷、スクリーン印刷、ネクタイ及び染料センターが1、共同訓練センターが1、手織り機による織物センターが1、適切な技術センターが1、手工芸百貨店センターが2、ディスプレイセンターが1、洋服仕立及び裁断と編みものセンターが1、手工芸開発センターが3、家内産業の訓練機関1が含まれている。

社会福祉

婦人局は2種のタイプの社会福祉活動を行ってきた。第一は、婦人の労働力としての参加促進のための、ユースホステルとか昼間保育センターと云った職業の支援。第二は、例えば家出婦人、おきざりにされた婦人、離婚・別居婦人又は特別な必要性、即ち貧困婦人のための法的援助と云うような、特殊な目的のグループの要求を満たすための活動。前者のカテゴリーでは、ユース・ホステルが68、昼間保育センターが173ある。後者のカテゴリーは、法的医療援助センター39、工業用ホーム／多目的センター1750、Darul-falah／Darul-amam 2、囚人福祉センター1及び盲少女のための居住教育を有する機関1、が含まれている。

最近の諸計画

最近の2年、即ち1986～87年及び1987～88年は婦人の開発のための新次元を画したということで、特に意義が深い。多数の大胆で想像力に富んだイニシアティブが教育、雇用及び職業の提供領域を多角化するために取られてきた。最近の計画のうち、若干を取り上げると以下のものがある。

地方開発指導員教育のためのアカデミー

地方の地位向上は、専門的な中核幹部なしでは不可能である。6,000名の婦人地方幹部の教育が進行中で、——4,200のユニオン会議のそれぞれに1名及び400の都市部の人口25,000名当り

1名。

これらの指導員は、地方での婦人の活動につき変更、組織作り、教育及び計画の主体として行動するだろう。彼女達は、現在の諸機関を通して更には新しいグループやアソシエーション作りの補助者として活動する予定である。そのような研究所が4ヶ所、Sahiwal Nawab Shah, Mansehra 及び Pishin で発足しようとしている。

都市開発指導員教育のためのアカデミー

都市地域における婦人開発指導員の専門幹部を置き、医療補助者、練達教師及びコミュニティ作りの担い手として活動させることの必要性は長い間感じられていた。

指導員達は又、付記人として活動し、現在の諸機関、サービスの窓口、地方評議員、公務員及び民間諸団体とのパイプ役をすることになろう。Karachi と Lahore にそれぞれ一ヶ所の教育研究所は国家的ネットワークで、年間200名の指導員を選出している。これらの指導員は主として NGO セクターに吸収されている。

和注：NGO：政府では non-gatedted officer 官報に告示されない公務員

婦人開発のためのパキスタン・アカデミー

このようなプロジェクトが恒久的に継続するよう設立される必要性から、イスラマバードにこのアカデミーの建物建設用地が確保された。このアカデミーは、婦人開発計画の教育者を訓練するための施設を提供し、NGO の人をその条件に従って教育し、各州における婦人教育機関向けにカリキュラムを標準化し、経験及び情報の州間の普及を取りまとめ、更に、国際的諸機関と教育課題事務について協議するための焦点としての役割を果たすことになろう。ゼミナール等用の会議所も建設中である。

農業その他の産業に於ける婦人

Sargoxha の農業教育機関での、嘗ての計画の結果として、漁業文化における480名の婦人の教育のため Lahore の漁業教育機関と協力して提案がなされた。最新の果物・野菜保存技術に関して毎年100名の上流婦人教師養成のため Faisalabad の、パンジャブ農業調査研究所に、果物・野菜保存センターが設立された。同様な計画が Peshawar の農業大学での50名の婦人現地補助者教育につき承認されている。養蚕は Punjab, NWFP, Baluchistan 及び Sind のいくつかのセンターで普及されている。

移動診療所

遥か遠隔の地方における医療施設の不足と、医療スタッフのそこでの駐留拒否感を認識して、婦人局は、州健康部課及びNGOsに対し婦人及び子供がすぐ近くで医療を受けられるための、移動診療の援助を行なっている。本局は地方レベルでの援助活動を計画している。これ迄に昨年22の移動診療所が認可され、今年は更に30が供与される予定である。Lahore の Data Darbar 病院では眼科病棟が建ち、又移動アイ・キャンプも発足することになっている。乗物による追加的支援は、NGO 調整委員会を通して、健康及び人口福祉の分野で、NGOs に提供され

た。

法的援助

貧困な婦人に対し法的援助を与えることは、本局の関心事の一つであった。パンジャブ、NWFP及びSindにおいて、女囚に対し法的援助を与える若干の計画については資金が供給された。これらの計画の成果を評価し、婦人のための法的援助制度の拡張に形を与えることの見地から、1987年10月27日から29日に、Quettaにおいて本件に関するセミナーが開催された。60名の婦人弁護士、上流婦人治安判事、上流婦人民事裁判官が、州及び連邦政府によって任命され、このセミナーに参加した。本局は、地方レベルで弁護士協会を通して、全国的にこの制度の拡張を計画している。

地方の図書館

貧困な婦人は、成人向けの読み書きの学級に出席したがらないが、その理由は読み書きを学んでも彼女達には、書籍、新聞、雑誌を購入する余裕がありえないからである。婦人に読書への刺激を与える必要性があった。アジア財団の援助を得て、地方政府及び地方開発省は4200の連合評議員会のそれぞれに地方のボックス図書館を設立した。婦人局は、これらの図書館での婦人のセクションの設置に補助金を出した。

コミュニティーセンター

地方の婦人人口のために、コミュニティーセンター設立に関する段階的計画が進んでいるが、読み書きの能力、熟練教育（主として農・漁業を基礎とした）基本的健康、並びに妊産婦と子供の健康等の教育活動を行なうためのものである。2種の上記に関するセンターが84の地方にそれぞれ設置予定である。

技術教育

最初の9校の婦人工芸学校の成果に勇気づけられ、本局は、パキスタンの全84の地方に同様の機関の設置を計画している。エレクトロニクス、建築及び服装技術といった課目が、これら工芸学校の教科概要中に含まれている。

上級のセクレタリーの課程

ILOの調査報告によれば、タイプ、速記及び簿記のみならず、テレックスやコンピューター操作に熟練した教養ある婦人のセクレタリーについては1000名の需要マーケットがあると云う。オランダ政府の援助をうけた上級コースが、Karachi, Lahore, Peshawar, Quetta, Faisalabad及びイスラマバードの婦人工芸学校で発足しつつある。

婦人のための少額金融計画

初めて5ヶ年間経験に基づいて、地方／都市地域において、生産的目的のため貧困な婦人に少額のローン貸与の計画が展開された。この計画は婦人局の出す資金から、パキスタン国民銀行と小企業金融公庫を通して実施の予定である。ローンは無利息、無担保である。種々な段階で浪費のないよう、適切抑制と均衡原理にもとづく詳細な仕組みが作成された。簡便な分割回

収が3年から5年にわたり行われることになる。

共同指導幹部

我国の近隣諸国は、共同事業において婦人を含めることの効果を証明した。我国のこの段階に於ける先ず第一に必要なことは、彼女達に協同組合設立の動機付けを行なうことである。

従って、協同組合は、婦人局により訓練をうけた都市・地方普及指導員のカリキュラムの中に含まれている。我国における実地調査のための共同部門での婦人幹部公務員募集のため地方政府に対する助成金が与えられることになった。

適切な技術計画

すべての州において、地方のみならず都市のスラム街に住む婦人達のための包括的な教育計画が、基本的必要性に方向づけられている上に所得発生^{インカム}の技術について、選別された職業及びその他のセンターで着手されかまっている。対象となる領域は、生物ガス及び太陽熱エネルギー計画、果物・野菜の脱水、衛生（設備）計画、水ポンプ、調理用ストーブ及び鍋^{オーブン}である。

民間組織

NGOセンターに最近2年間に、多大の支援が行われた。いくつかの分野においてこれらの組織は、今、大規模に道徳的及び金融上の支援を享受している。これらの団体は、コミュニティー作りの指導員、手工業促進センターの設立、印刷・出版コース、秘書役及びコンピューター教育学級、法的援助組織、衣服生産センター、診療所等の教育計画を委託された。NGOsの大掛りな試みには、婦人労働者の^{ホステル}宿泊設備、図書館、情報センター、応急手当及び収入発生計画を含んでいる。

モニタリング 監視及び評価

逐年、プロジェクトの数の増加に伴って、婦人局の助成をうけている各種機関の手がけた計画及びプロジェクトの評価及び監視を強化することが必要となっている。現場からのフィード・バックが合理化されねばならない。州政府の援助の観点から、婦人局はプロジェクトのチェックと改善、困難な点の除去、必要なインプットの提供のための、十分な計画による評価システムを導入しつつある。評価は、婦人開発計画の効果を見出すことをも目的とする。国民的モニタリング及び評価組織がイスラマバードに設立されつつあり、このような組織は各州での既存の婦人調整組織に所属する予定である。

複合施設

婦人計画に関する婦人局の最も目につく影響は、身体的調節の分野であった。22の図書館、公会堂1、複合スポーツ場1が承認された。同様に12の女性病棟、眼科外来患者部局1、及び盲少女のための居住機関1が承認された。本件の実際的な面を改善するために、22の家庭経済研究所が、NWFPに於て22の高等女学校に設けられた。

精神・情緒障害者のホーム

その他の理由もあるが、都市生活のスタイル、社会・経済的不適応及び心理学的ストレス

が、神経・精神障害をもたらす。婦人は、このような危険に益々さらされかけている。全州にわたって、医学的助言を与える精神的にうちひしがれたもの達のための4ヶ所のホームが認可された。同様に麻薬常用者の医療とリハビリセンターが1ヶ所承認された。このようなセンターは更に設置される傾向にある。

手芸——(a)訓練, (b)デザイン化, (c)商品化

手芸は、奨励の仕方次第では、国民経済の生活面を支えることができるだろう。これ迄は、婦人は刺繍以外は手芸の開発に秀でていなかった。従って婦人局は、敷物（じゅうたんでもカーペットのように床全部でなくその一部用）織物、durre織物、gabba作り、木工作業、混雑紙（箱・盆などの製造に用いるもの）、tilla workの皮革手芸等での婦人訓練のためのプログラムを後援して来た。

国民手芸委員会と協力して、本局はHyderabadでは凸版印刷及び手織り機による織物について、又Chiniotでは青銅の象眼（はめ込み細工）及び象牙の象眼について婦人を訓練している。手芸百貨店及びデザイン・センターが我国内部の生産物の改善・市販の観点から小企業庁を通じて助成金をうけている。Lahoreの国立芸術大学によるLahoreの婦人のための国立デザインセンターの設立が熱心に検討されている。

女囚のための施設

過去における刑務所改善の試みにもかかわらず、女囚の状態は希望事項のないまゝの状態である。女囚達は、基本的なあるべき設備のない、非衛生的で密集した区域で暮している。刑務所を出てからの生活のためのこれらの在監者に技術を教える機会は充分にない。婦人局はこの方向での歴史の第一歩を踏み出した。

提供されるサービスの中味は6つの構成要素から成る：職業教育、機能的な読み書きの能力、宗教教育、法的援助、T. V. セット、バラックの独房・トイレ・入浴及び洗濯室・並びに出産のための病室といった身体的施設が供与された。このプロジェクトでは、女性刑務所長のための特別教育及び再教育コース国家機関の設置も提案している。

婦人機動市民防衛訓練チーム

我国民の半数である婦人は、平和或いは戦争における緊急事態に処する備えが殆どない。それ故、長官、民間防衛、内務省により、応急手当、初歩的看護、消防、空襲・爆撃の用心について婦人に訓練の機会を提供する計画が実施されつゝある。この目的達成のために、第一段階で8班の訓練チームが設けられ・重要な28都市で選ばれた婦人公的班に訓練を施す予定である。この計画は来年には更に拡大されよう。

大学での婦人の研究

婦人に関する研究が、大学の世界全般で主要な問題になっている。初めて婦人についての研究が、大学レベルにおける社会科学の題目として、パキスタンに導入される予定である。包括的な計画が、選ばれた大学の副総長（実質上の総長）と折衝中である。

選抜センター

本局は、PeshawarとLahoreのそれぞれに、看護大学院の設置を後援している。同様にいくつかの一般看護学校が今年局レベルで認可された。

家内工業の教育機関

Barani地域の婦人に、食品加工・保存、養蜂、養蚕、草花栽培、家政学等の分野で専門の短期教育を授けるため、Rawalpindiに施設が設置されることになっている。

新計画——1988年以降

下記の地域における諸計画が、創始又は既存計画の拡張として計画されている。

- 飲料水計画
- 平和教育
- 女性企業家の教育
- 視聴覚カセットの生産及び教育／文化施設におけるその利用
- 視聴覚カセットの女性生産者の訓練
- 専門学校（国立）における婦人問題に関する婦人研究サークル及び図書館
- 情報ネットワーク及び資源センター
- 婦人の自己向上／開発計画
- ホームスクール計画
- 地方レベルでの移動診療所の提供
- 上級の経営管理教育
- 地方からTehsilレベルの職業婦人のホステル
- 87の地方における協同組合での女性幹部の開発
- 科学教育の推進—科学研究所の質的向上
- 養蚕及び絹織物の促進
- 技術教育センター
- 適切な技術計画の拡張
- 側面的法的援助教育を含む法的援助計画
- 婦人のバザー（ショッピング・センター）
- 婦人の雇用及び指導局
- 婦人の病後療養ホーム
- 女性を長とする家族のための低廉な住居
- 密集地域でのpurdah（婦人の姿を外からかくす）公園／レクリエーションセンターの設立
- 地方における少額金融計画
- 技術教育

調 査

専門家不足から、本局は主として契約調査に依存し、大学、コンサルタント会社、及びその他の政府諸機関と折衝してきた。このことが、「婦人研究」での相当額の専門家派遣団の結成をもたらす一助となり、婦人の現況及び問題に関する100名以上の現地調査員、監督官及び調査官を、調査遂行のかたわら、教育した。しかしながら、数年にわたり組織内調査が徐々に導入され、これ迄に各種の緊急かつ安全な婦人問題に関する44の調査研究が行われてきた。(付録一Ⅱ)

研究の結果、教育、読み書きの能力、正規によらない教育、初等及び成人教育、技術・職業教育、イスラム教育、カリキュラムと教科書の作成、雇用、訓練及び技能開発、メディアの役割、法律事項、マーケティング管理、健康、援助活動、開発における婦人に関するテーマについて調査活動の社会的管理及び調査の強化の諸領域で、多数の重要な勧告を行なってきた。

the Wingで行なわれた調査はすべて、現場指向型・行動指向型であるけれども、特殊な行動指向型の研究が、米国のthe Research Triangle Institute及び婦人調査国際センターからの専門家との協同作業で行われた。この研究はパキスタンのある特定のマイクロ・コンピューター・シミュレーション・モデルを開発した：国家的開発における性的資源の自覚 (GRAND) は、国民経済の発展における婦人と子女の役割を調査し、彼女達の役割の全般的自覚改善の一助たるある種の戦略を提言した。

婦人局は又、婦人の構成要素と特定な関係を有する国家世帯調査能力計画の実施に当り、連邦統計局とも協力している。これは、パキスタン政府、カナダ国際開発局 (CIDA) 及びUNDPの協同プロジェクトである。本局は、INSTRAW (婦人の地位向上のための国際調査教育協会) の国家的焦点でもある。

婦人及び開発図書館並びにデータ・バンク

婦人と開発に関する図書館が、広範囲の婦人に関する諸問題、その生活スタイルの種々な面、及び社会・経済発展におけるその役割についての約15,000冊のコレクションにより設立された。

データ・バンクの概念は婦人局の図書館に導入され、主としてアンケート用紙、本局と後援と資金援助による諸研究完成後にコンサルタント/調査員より返却されたコンピューター用紙その他の資料を所蔵している。

婦人の開発に関する記録

現在、婦人局の諸計画・プロジェクトについての記録が作成中である。以前には地方・都市部の婦人の多岐な活動を叙述した「働く婦人」の記録が作成された。本局は婦人に関する問題点及びプロジェクトについてのシリーズ物の視聴覚カセットの後援者となることを提案している。

今後の調査領域

- (i) 1985年7月のナイロビ会議で、政府・NGOs双方が承認した「婦人の地位向上のための将来の戦略」のフォロー・アップ、検討及び評価。
- (ii) 影響力のつよい調査の拡大。
- (iii) 政府及びNGOsにおける婦人教育計画の輪郭。

- (iv) 農業における婦人の作業と生産性の輪郭。
- (v) 教育をうけた婦人、特に一定期間にわたる医師と技師の援助額の評価。
- (vi) 特に婦人が乞食になる諸理由に関する国としての研究。
- (vii) 彼女達の諸活動の遂行における、婦人NGOsの直面する業績、貢献度及び諸困難の評価についての国としての研究。
- (viii) 特に地方婦人につき現在進行中の読み書き能力キャンペーンの効果評価のための(LAM-ECと協同しての)研究。

付 録 Ⅱ

婦人局の(1979年～1988年6月)行なった調査研究リスト

1. 婦人に訴えかけるマス・メディア(大衆伝達の媒体:新聞・放送・雑誌など)の内容分析。
2. パキスタンの地方・都市部における婦人犯罪の研究。
3. 教科書における男性と女性の役割像
4. 目に見えない仕事:Lahoreの婦人間の賃仕事労働。
5. Sindにおける婦人の社会・経済的諸特徴。
6. パキスタンにおける回教家族法とその実施。
7. パキスタンにおける婦人:統計的輪郭。
8. 開発計画と婦人。
9. 情報メディアにおける婦人の描写。
10. NWFPにおける家内・小規模産業における婦人の関与。
11. Sindの農業分野における婦人。
12. 村落の学校制度,再編制諸問題の調査。
13. 地方婦人の技能改善の種々のパターン及び問題の調査。
14. パンジャブにおける婦人教師の仕事ぶり。
15. 村落生同体における男性の移住,不在の父親と婦人の変りゆく役割。
16. NWFPにおける農業等に基盤を有する諸産業の可能性と展望。
17. 鉱山・建設業における女性雇用のパターン。
18. 地方婦人の心理学的横顔。
19. NWFPにおける地方経済活動への婦人の関与。
20. 産業ホームにおいて働く婦人労働力の社会・経済的地位。
21. パキスタンにおける社会科学者の人名録。
22. Daudzaiにおける地方婦人の教育。
23. 婦人と子供の栄養状態。
24. イスラムの婦人。
25. アフガン避難民の婦人・子供の状況と諸問題点。

26. 選定された回教諸国家における Shariah 法の施行に関する調査。
27. パキスタンにおける貧困婦人。
28. パキスタンにおける酷使される婦人。
29. パンジャブにおける農業村落の婦人の社会・経済的地位。
30. 婦人のための国立教育・開発センター、必要な教育・カリキュラム人員の性質に関する実施の可能性のある研究。
31. 農業学校についての実現の可能性のある研究。
32. モデル村についての実現の可能性のある研究。
33. NWFPにおける婦人及びその家族についての開発のプログラム及びプロジェクトの影響力の評価（本研究は他の州にも及ぼされる予定）
34. Sindにおける婦人のプロジェクトの評価。
35. パキスタンにおける高齢婦人の問題点。
- 36*国家発展における性別資源の自覚（GRAND）
- 37*The Dai：パキスタンにおける dai教育の目録。
- 38*婦人ボランティア諸組織の人名録。
- 39*産業における婦人。段階Ⅰ及びⅡ。
- 40*農業及び地方家族における婦人のデータ・ベース（データ・ベース＝データ・バンク）
- 41*就労婦人人名録。
- 42*婦人の雇用のその家族への影響力。
- 43*パキスタンにおける婦人のための職業案内。
- 44*婦人NGOsの横顔。

（※は、調査隊の職員により実施中のものである）

6. 当該国から受けたその他の資料

1) フィリピン 5種

2) タイ 1種

1) フィリピン

TRAINING MODULES

on the

COMMUNITY-BASED

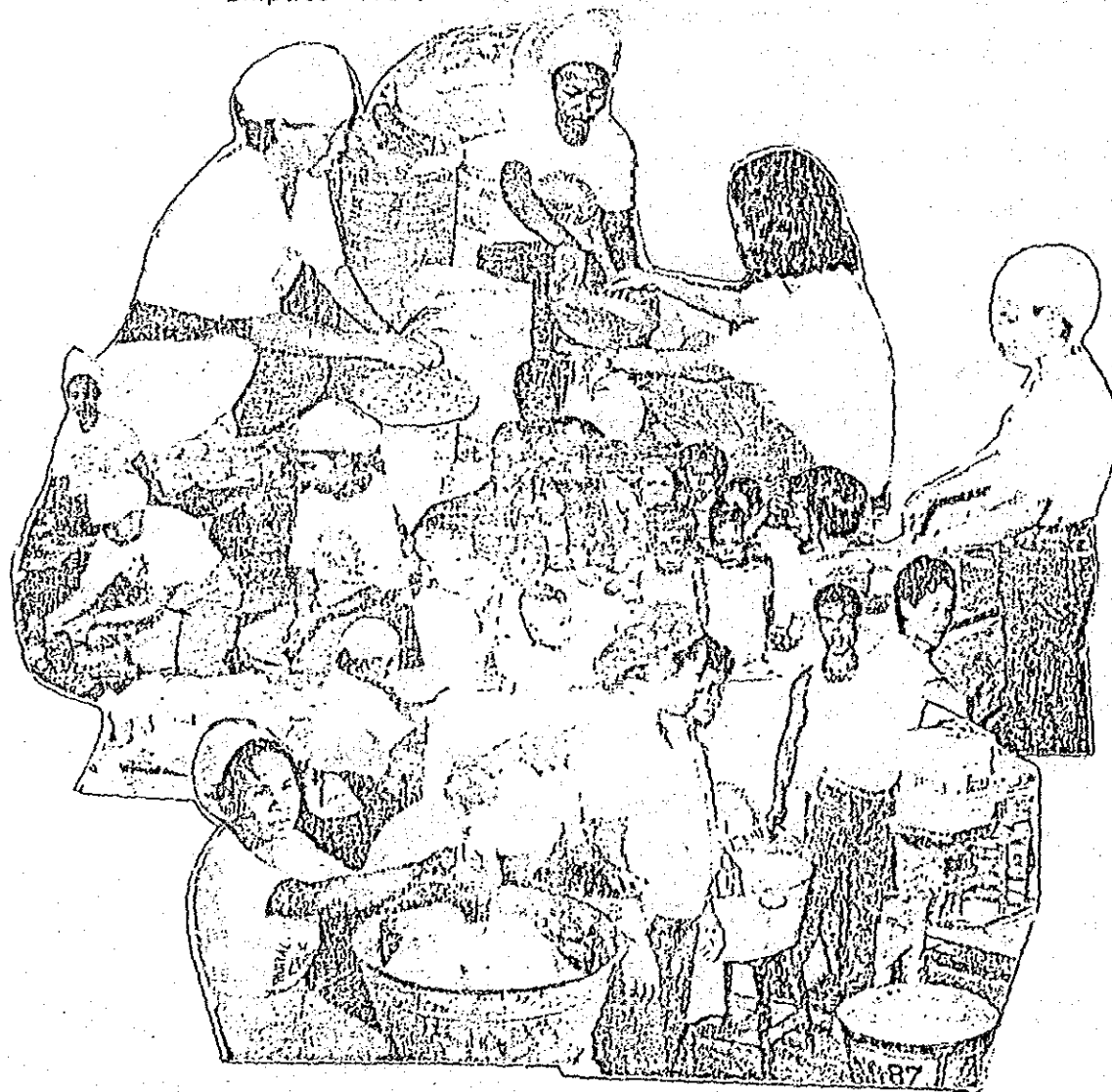
PROCESSING and MARKETING

OF SUPPLEMENTARY MIXES

(INSUMIX)

By: LOURDES P. TUPAS (Ph.D.)
ALICIA R. SARMIENTO (M.S.)

FARM HOME RESOURCES MANAGEMENT SECTION
AGRICULTURAL TRAINING INSTITUTE (FORMERLY BAEx)
Elliptical Road, Diliman, Quezon City



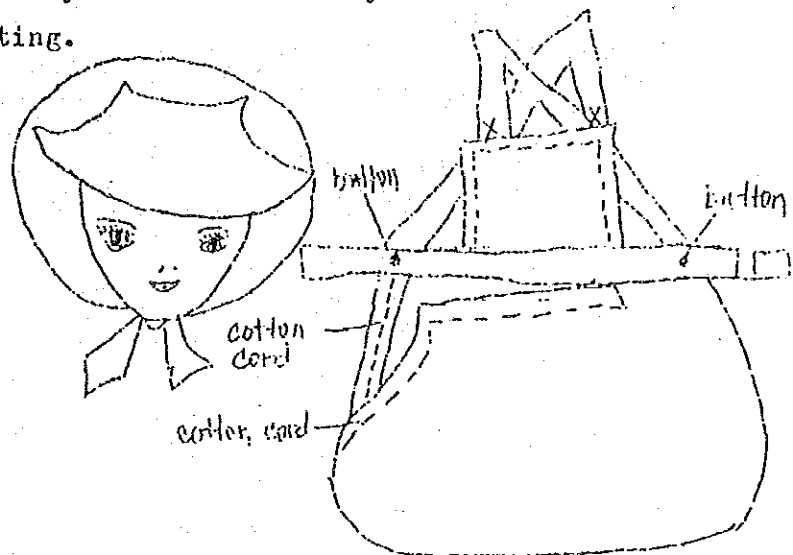
suggested Labor Hygiene Attire When

HARVESTING MUNGO OR SESAME

Working Hat

This specially designed hat is very useful in protecting us from frickly heat when we work under the sun. This is very convenient and comfortable to wear.

The attached scarf is made of cotton material which could help absorb perspiration. It could be tied around the neck to keep the hat on your head even if you do the usual movement when harvesting.



B. Apron for Harvesting

This could help facilitate the movement of those who are harvesting mungo, sesame and other vegetables. This could be easily tied around ones body. It has pockets wherein the fruits and other vegetables could be placed after picking it up. The harvest could be transferred to a bigger container when the pockets are already full.

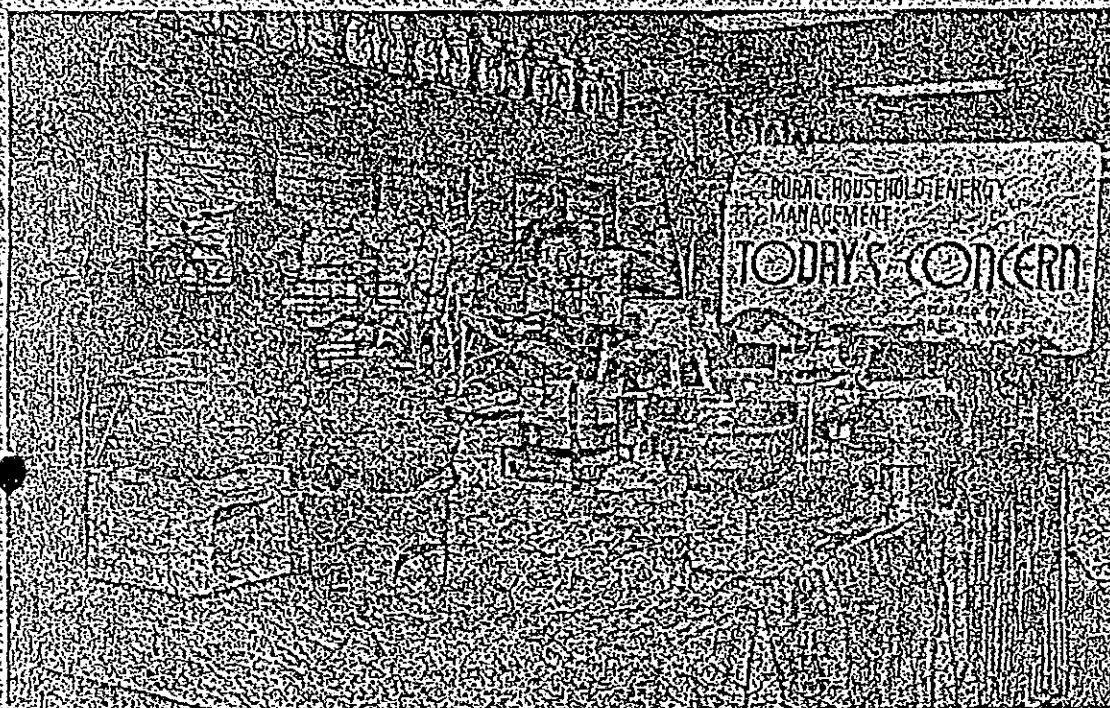
C. Cotton Gloves

This should be made from cotton material to help absorb perspiration. This glove could protect the hands from thorns and insect bites.

SAVING ENERGY in RURAL HOUSEHOLDS

A guide for Women Extension Workers

FOR PRE-TEST



Home Economics Programs Division
Bureau of Agricultural Extension

in
cooperation with

Food and Agriculture Organization
of the United Nations

1986

TABLE OF CONTENTS

Preface

UNIT I DEVELOPMENT OF ENERGY RELATED PROGRAMME (The Process of Intervention)

Introduction

Topics

1. Guide for Energy-Related Intervention Programmes 2
2. Helping Rural Women Develop Energy-related Projects 4
3. Women's Stove Improvement Project 14
4. Women's Tree Planting Project 29

UNIT II KNOWING YOUR FUELS

Introduction

Topics

1. The Fuel Shortage 51
2. Wood: The Main Source of Fuel 54
3. Charcoal: A Useful Alternative Fuel 59
4. Organic Waste 66
5. Biogas: Another Alternative Fuel 70
6. Solar Energy 87
7. Generating and Using Electric Energy 98

UNIT III SAVING TIME AND ENERGY

Introduction

Topics

1. Recognizing The Workload in Rural Households 108
2. Understanding Women's Use of Energy 117
3. Making Fuel Readily Available for Use 121
4. Making Water Available 126
- 4.a. Collecting and Storing Water
- 4.b. Making Water Safe 143
5. Saving Time in Food Preparation 152

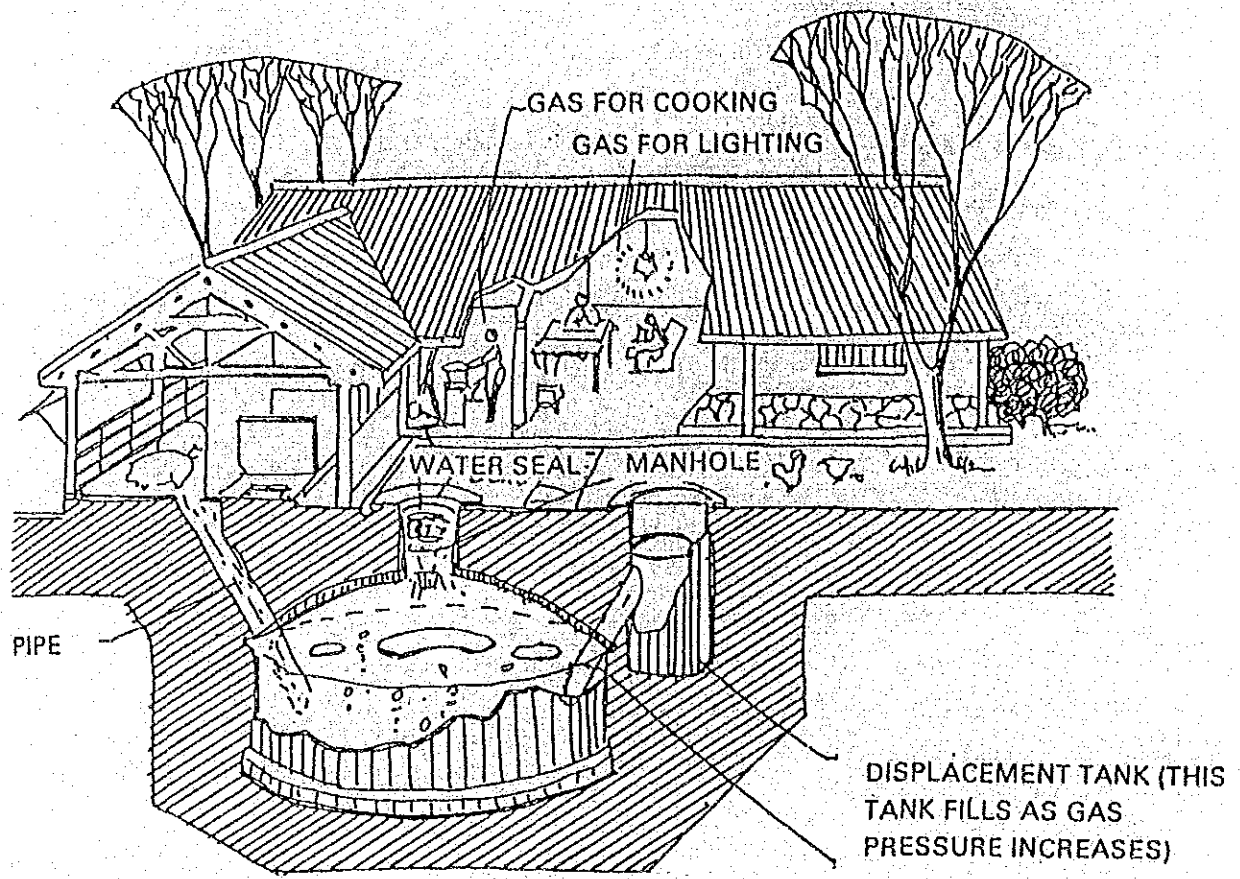


Figure 12 Fixed Dome Biogas Plant (China)

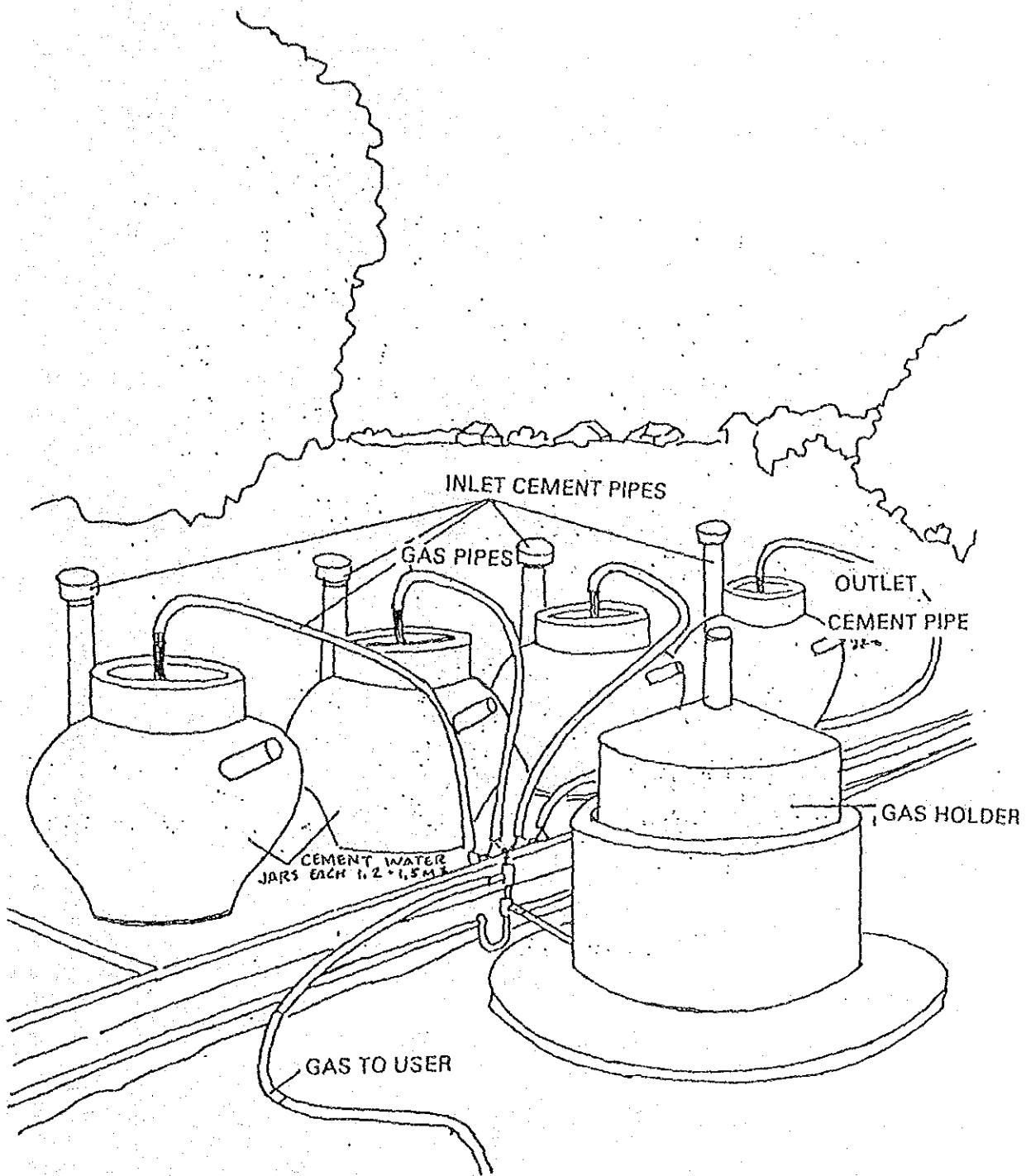
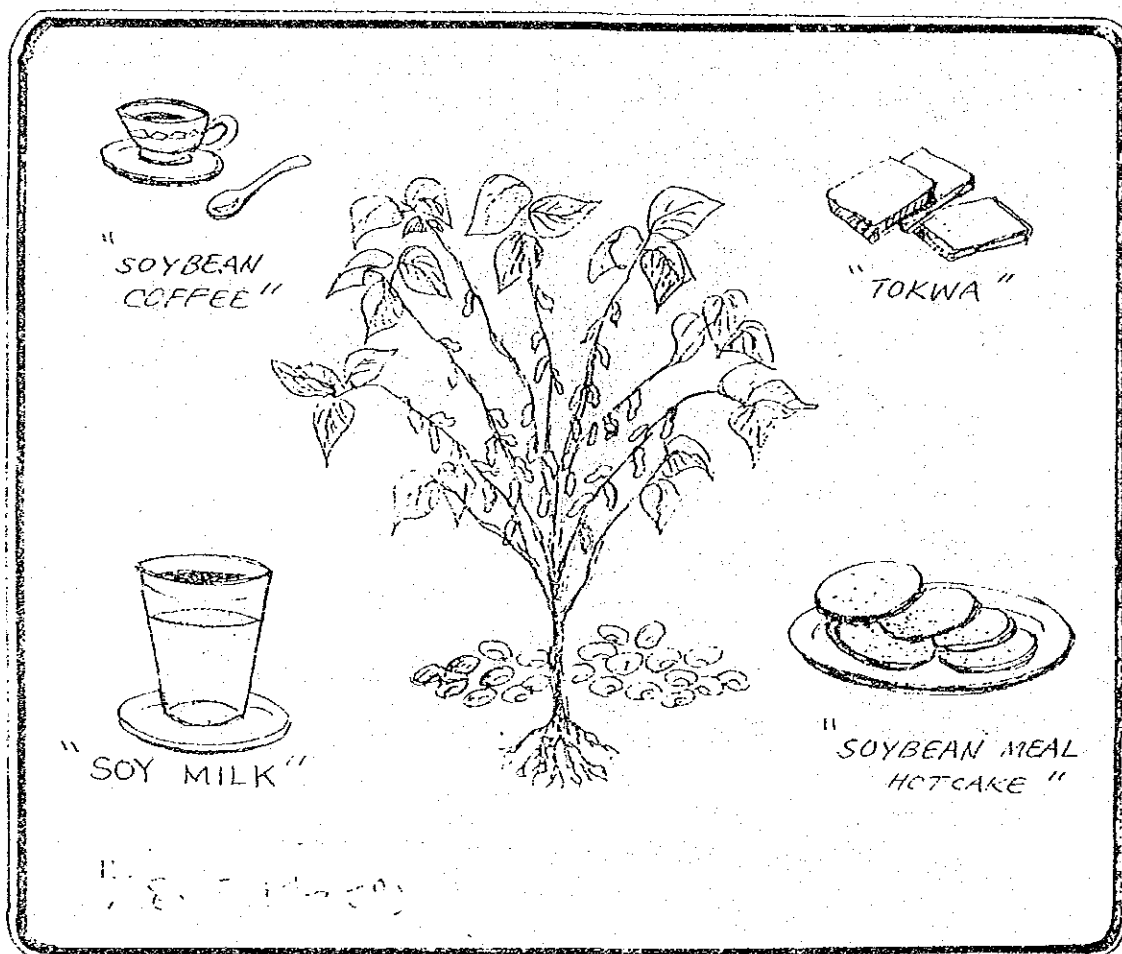
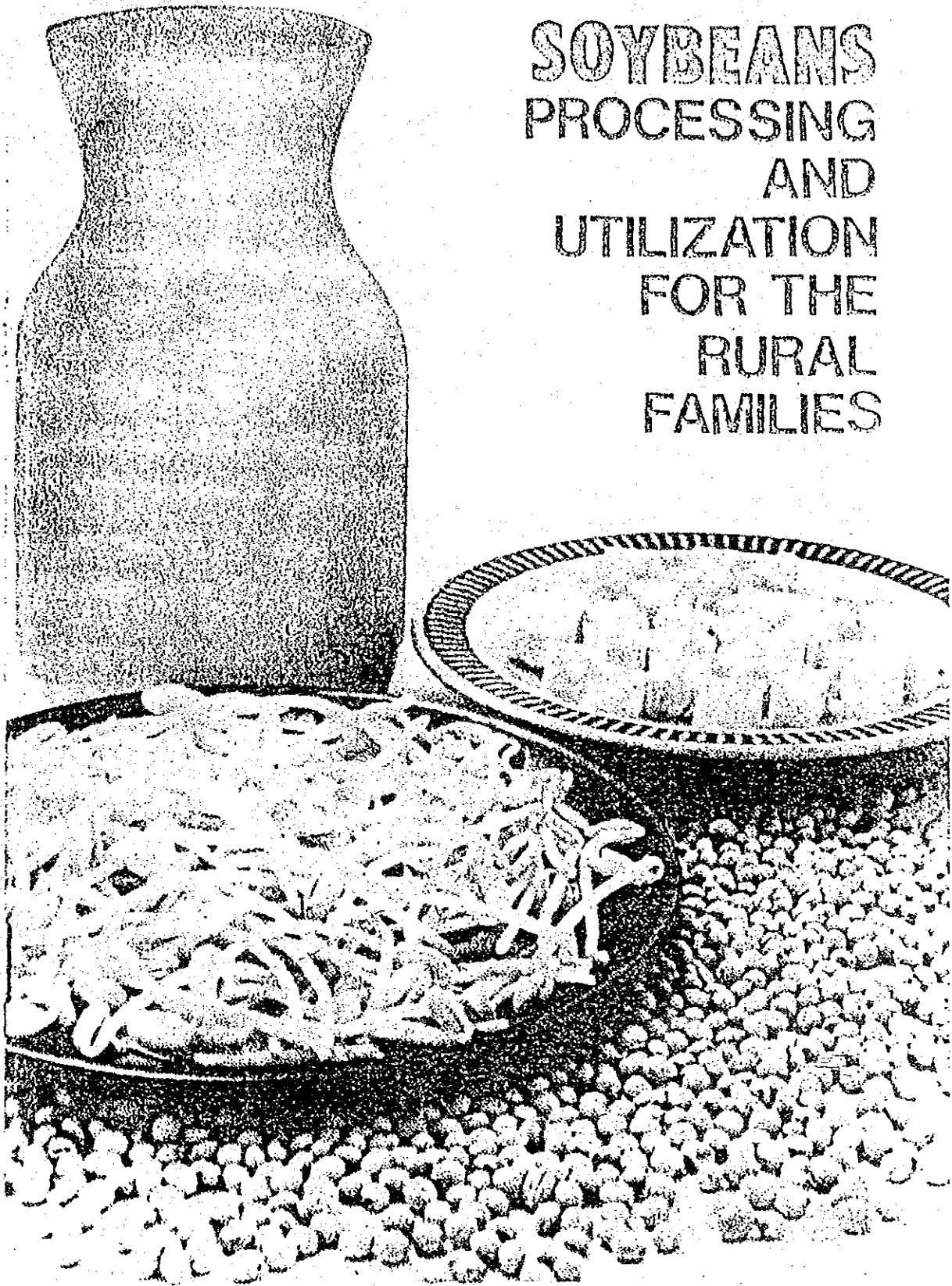


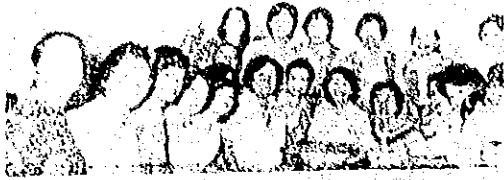
Figure 13 Separate Gas Holder Jar Type Digester (Thailand)

SOYBEAN PROCESSING AND UTILIZATION FOR THE RURAL FAMILIES



SOYBEANS
PROCESSING
AND
UTILIZATION
FOR THE
RURAL
FAMILIES





PROGRAM IMPLEMENTORS:

The implementation of the various programs along farm home resources management will be spearheaded by the specialists of ATI in collaboration with the twelve regional field operating units of the Department of Agriculture and a network of Rural Improvement Clubs, a non-government organization with about half a million members throughout the country.



Printed by:

Agricultural Training Institute
BAEx Bldg., Elliptical Road
Diliman, Quezon City



FARM HOME RESOURCES MANAGEMENT



... SERVICE to the
FILIPINO FARM FAMILY

AGRICULTURAL TRAINING INSTITUTE
Department of Agriculture
BAEx Bldg., Elliptical Road, Diliman, Q.C.